

渋滞対策 参考資料

令和3年3月24日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 県土整備部

目 次

1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況		2
2. ピンポイント渋滞対策の検討状況		26

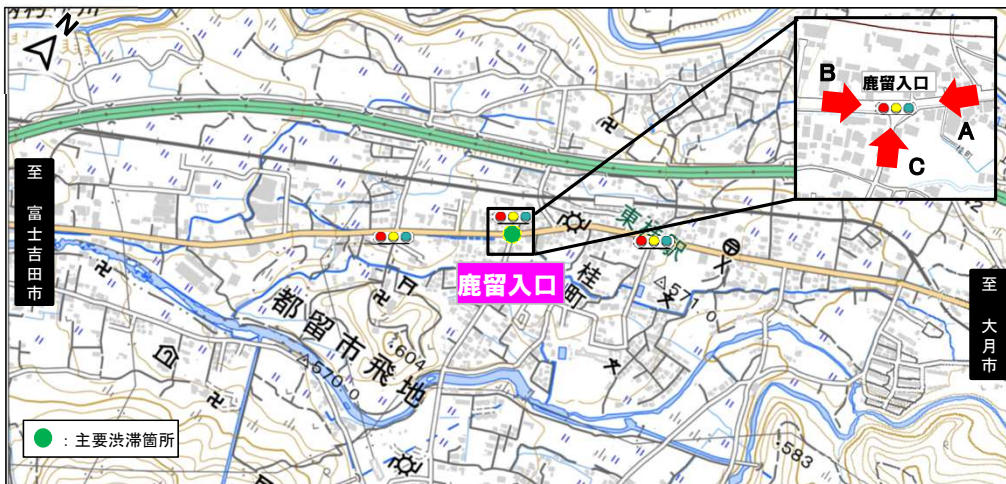
1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

- 選定時においては、A方向で指標②、B方向で指標②③、C方向で指標①③が基準(20km/h)以下。
- 直近3年間(H29～31年)のモニタリングによると、各方向で基準を上回っている。

■位置図



■抽出指標の判定

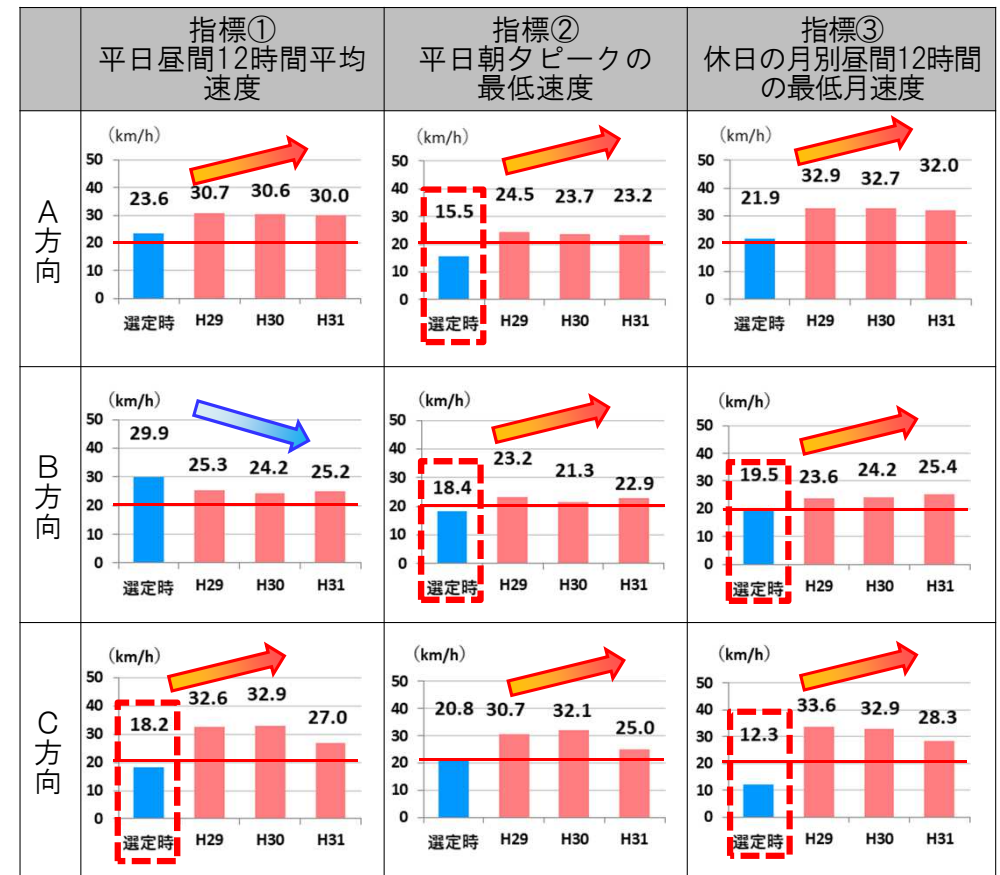
指標該当状況： ●：該当、－：非該当

道路管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	鹿留入口	都留市	-	選定時		●	●
				H29	-	-	-
				H30	-	-	-
				H31	-	-	-

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20 km/h以下

抽出指標②：平日朝夕(6～10時、16～20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20 km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20 km/h以下



出典：民間プローブデータ 【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月

(指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く)

【H29】平成29年1月～平成29年12月

【H30】平成30年1月～平成30年12月

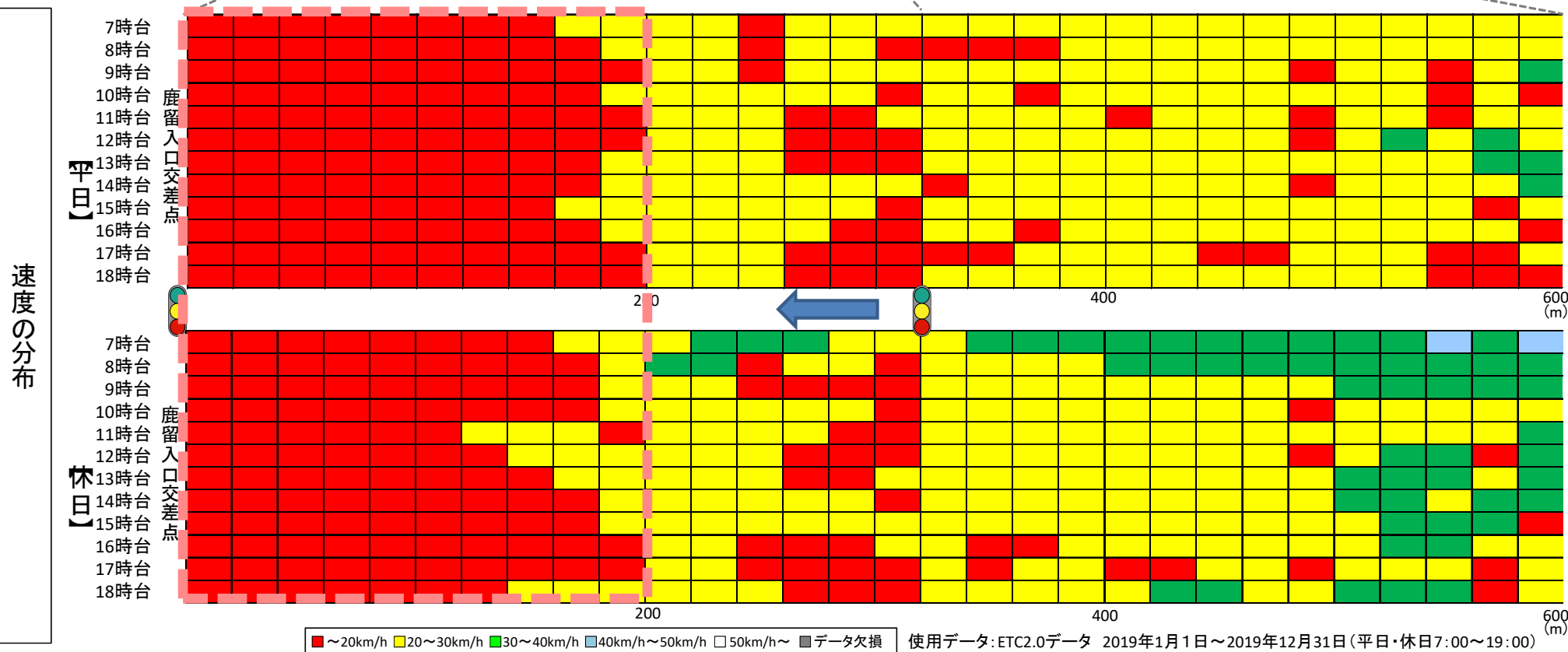
ETC2.0プローブデータ 【H31】平成31年1月～令和元年12月

1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに、終日、信号を先頭として約200mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。

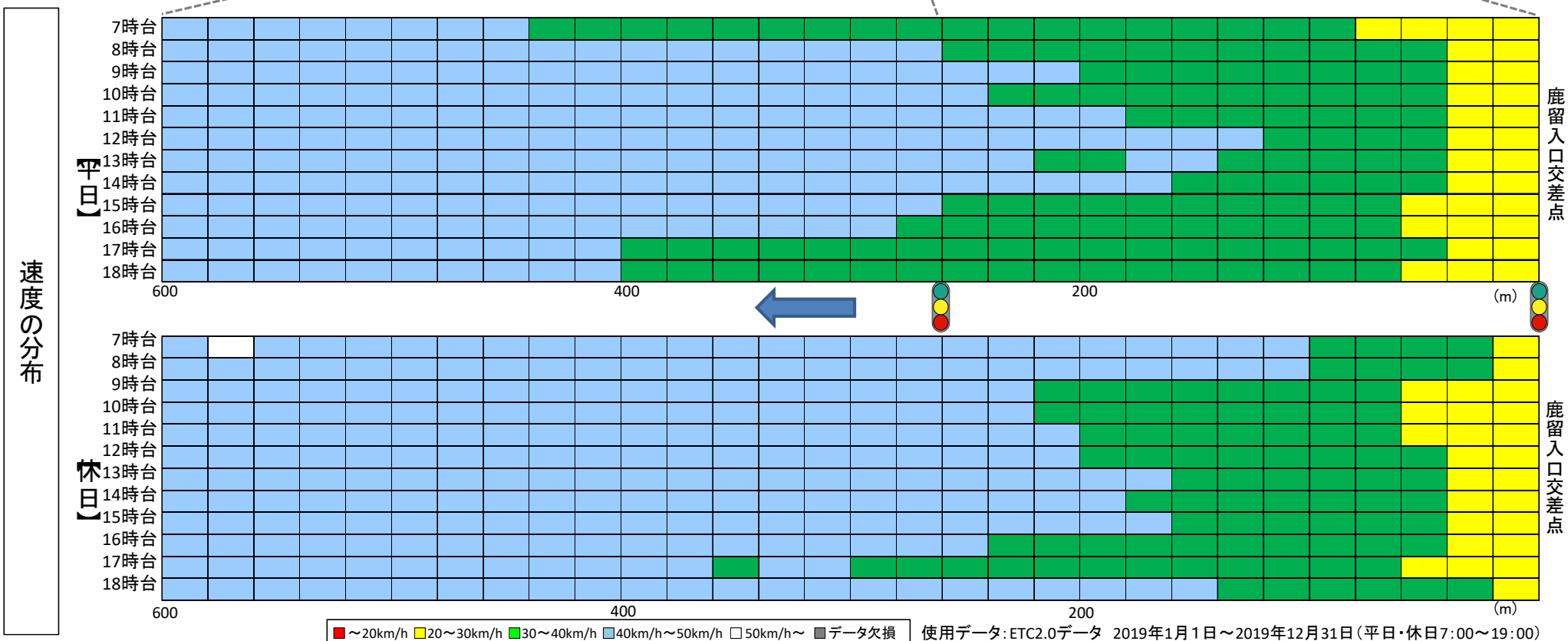
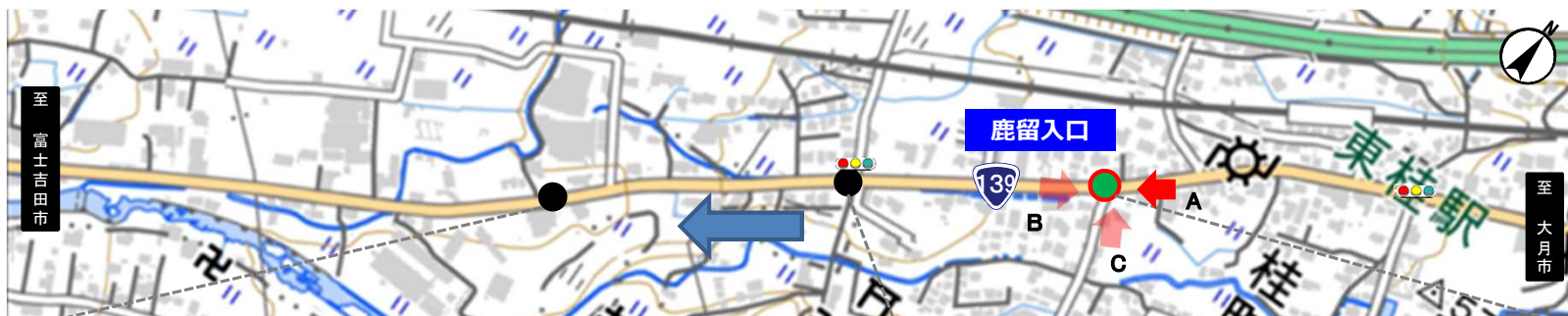


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

○鹿留交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、20km/h未満の速度低下がみられない。



①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

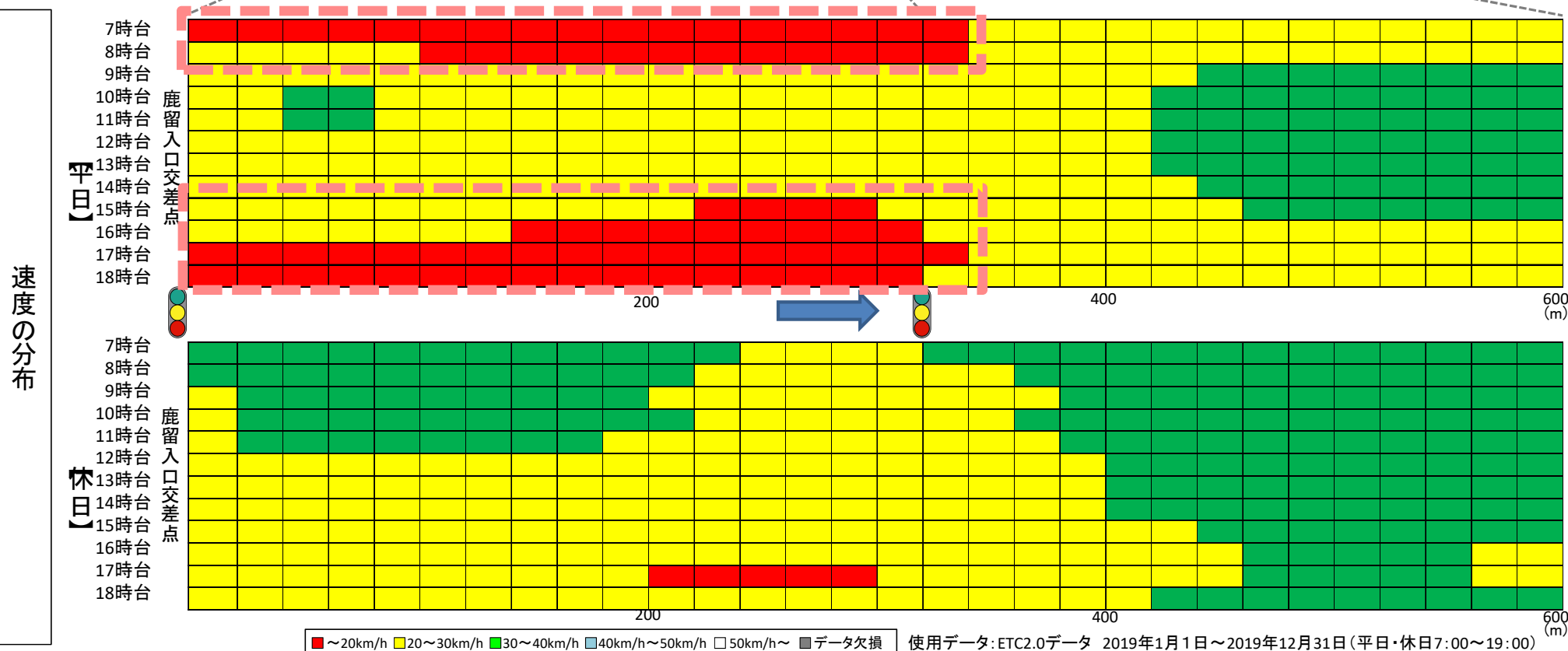


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

○平日朝夕は東桂駅前の信号を先頭として約300mが速度20km/h以下となっており鹿留交差点をまたぐ速度低下が発生している。



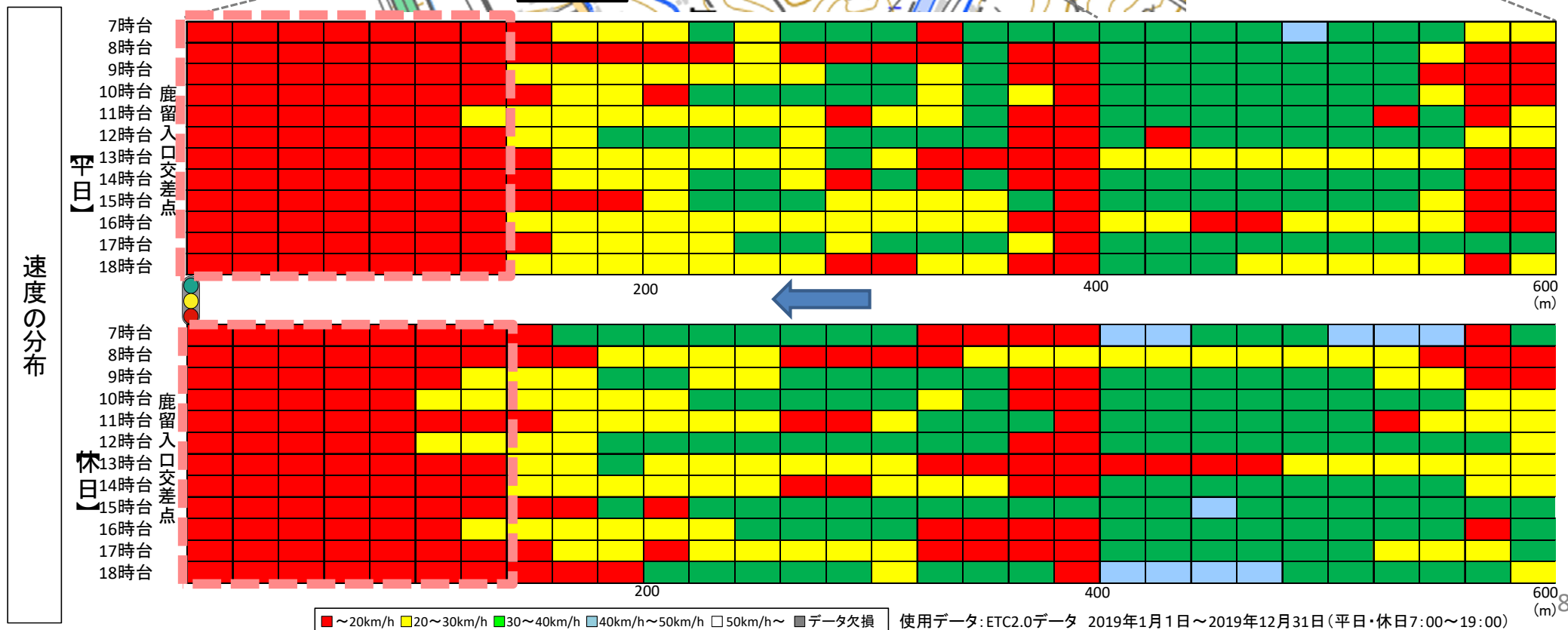
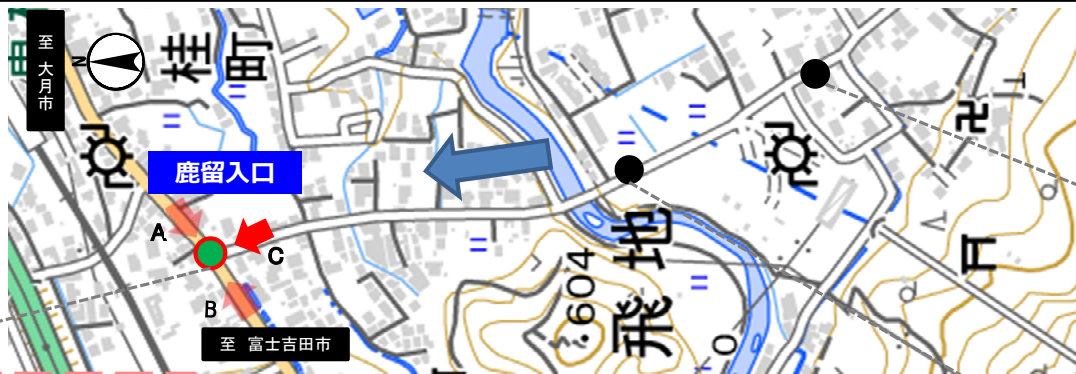
1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

ししどめいりぐち

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに、終日、信号を先頭として約160mが速度が20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。特に平日朝8時台は、速度20km/h以下の区間が長くなっている。



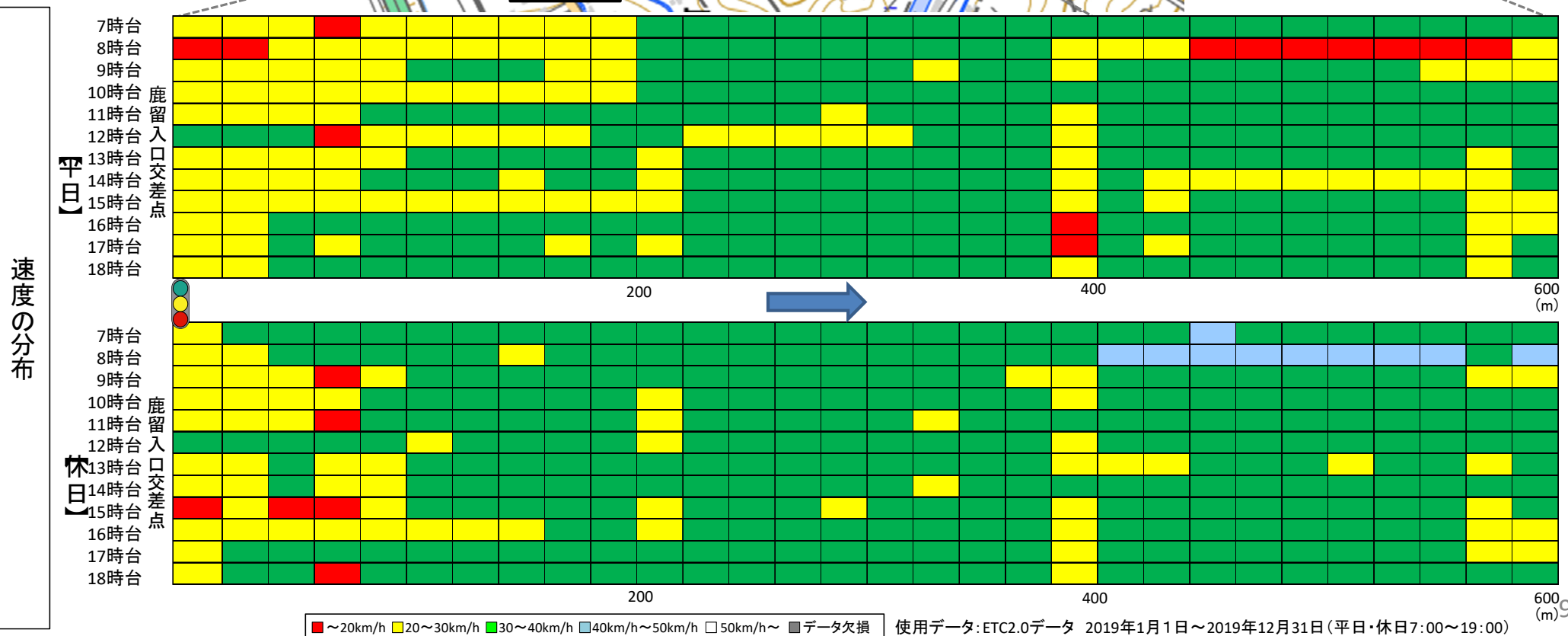
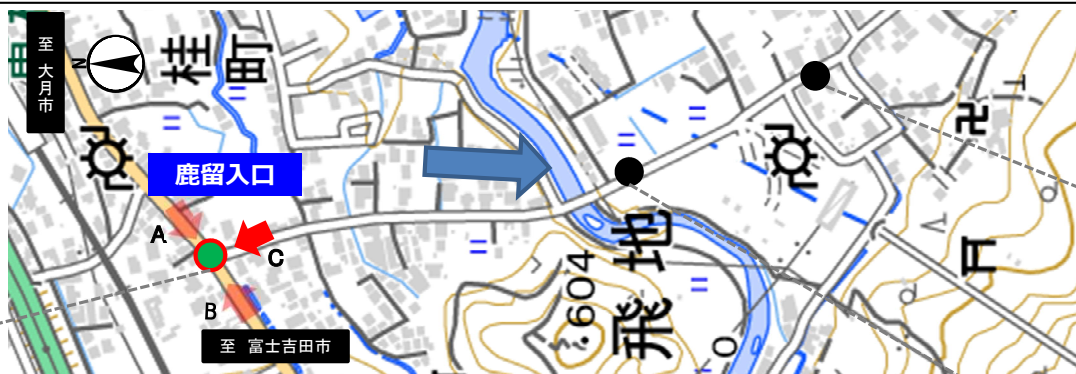
1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

ししどめいりぐち

①一般国道139号 鹿留入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに、鹿留交差点流出側の速度が20km/h以下となっている時間帯もあるが信号による影響が含まれている。

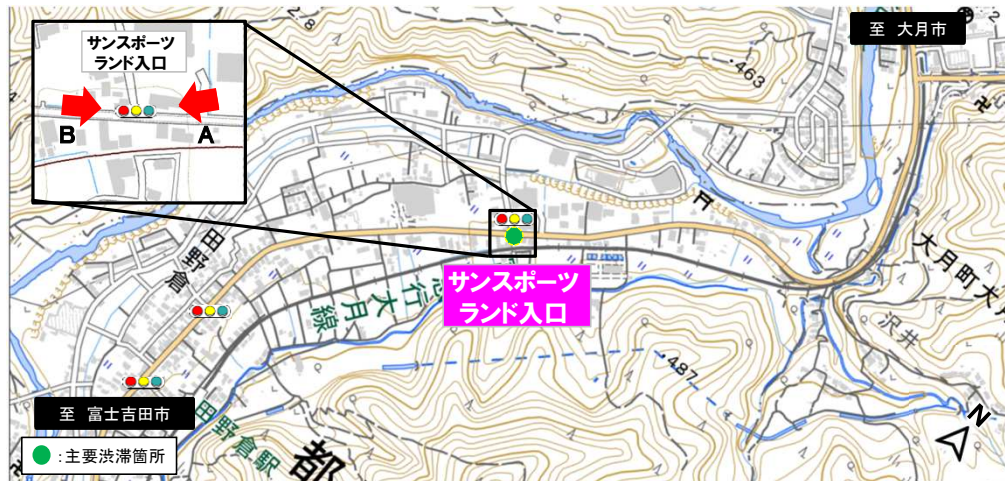


短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

- 選定時においては、A方向で指標②③、B方向で指標①②③が基準(20km/h)以下。
- 直近3年間(H29～31年)のモニタリングによると、各方向で基準を上回っている。

■位置図



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、－：非該当

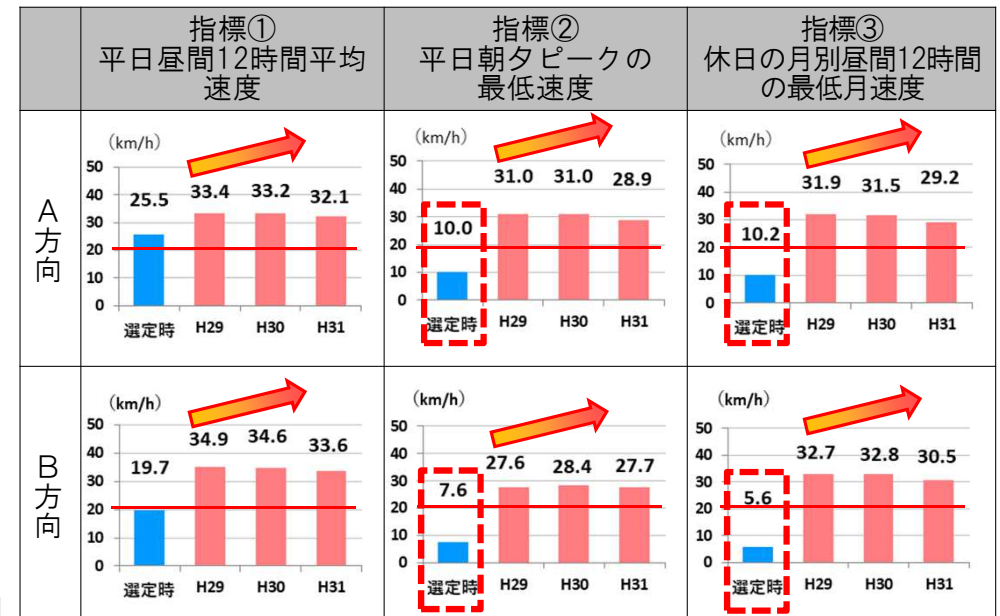
道路管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	サンスポーツランド入口	都留市	-	選定時	-	●	●
				H29	-	-	-
				H30	-	-	-
				H31	-	-	-

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20 km/h以下

抽出指標②：平日朝夕(6～10時、16～20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20 km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20 km/h以下

■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定(民プロ)



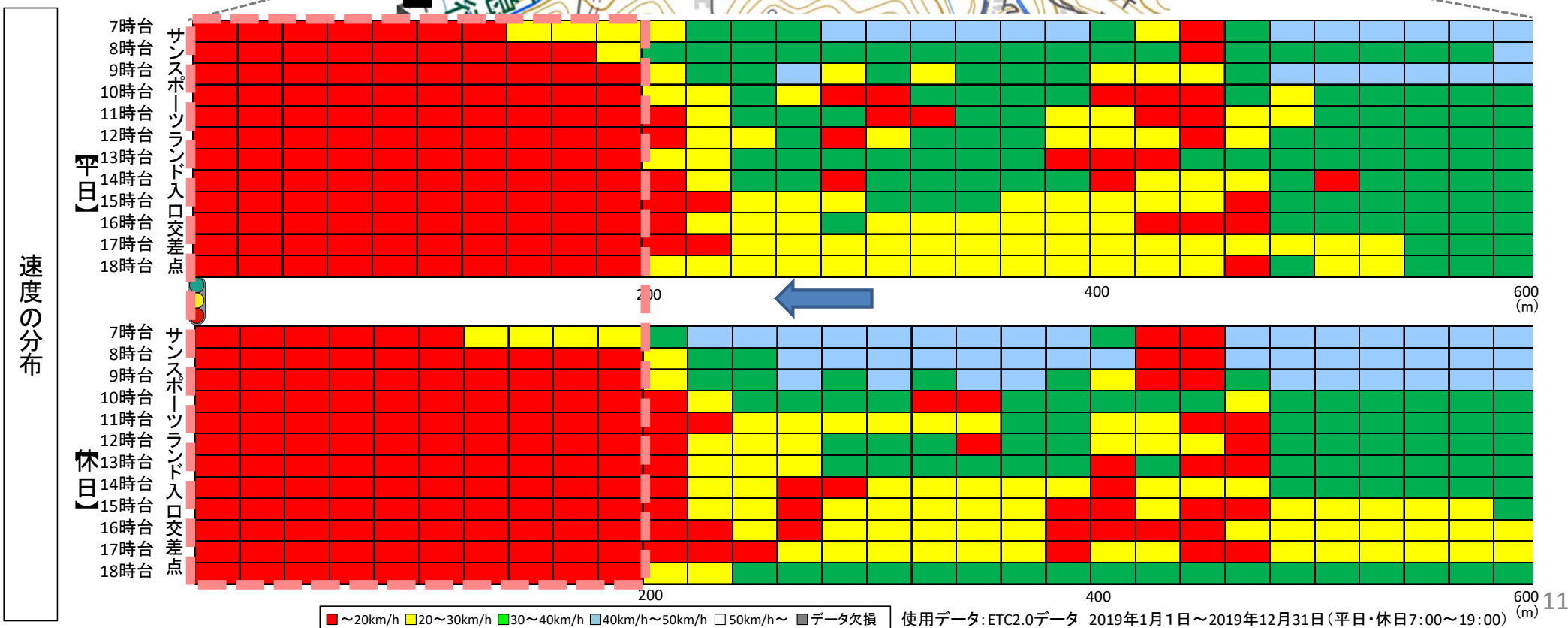
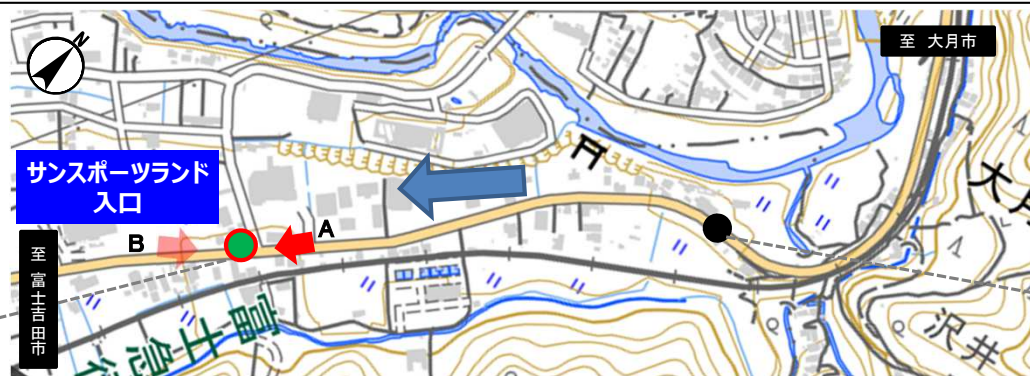
出典：民間プローブデータ 【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月
 (指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く)
 【H29】平成29年1月～平成29年12月
 【H30】平成30年1月～平成30年12月
 ETC2.0プローブデータ 【H31】平成31年1月～令和元年12月

1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに終日、信号を先頭として約200mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。

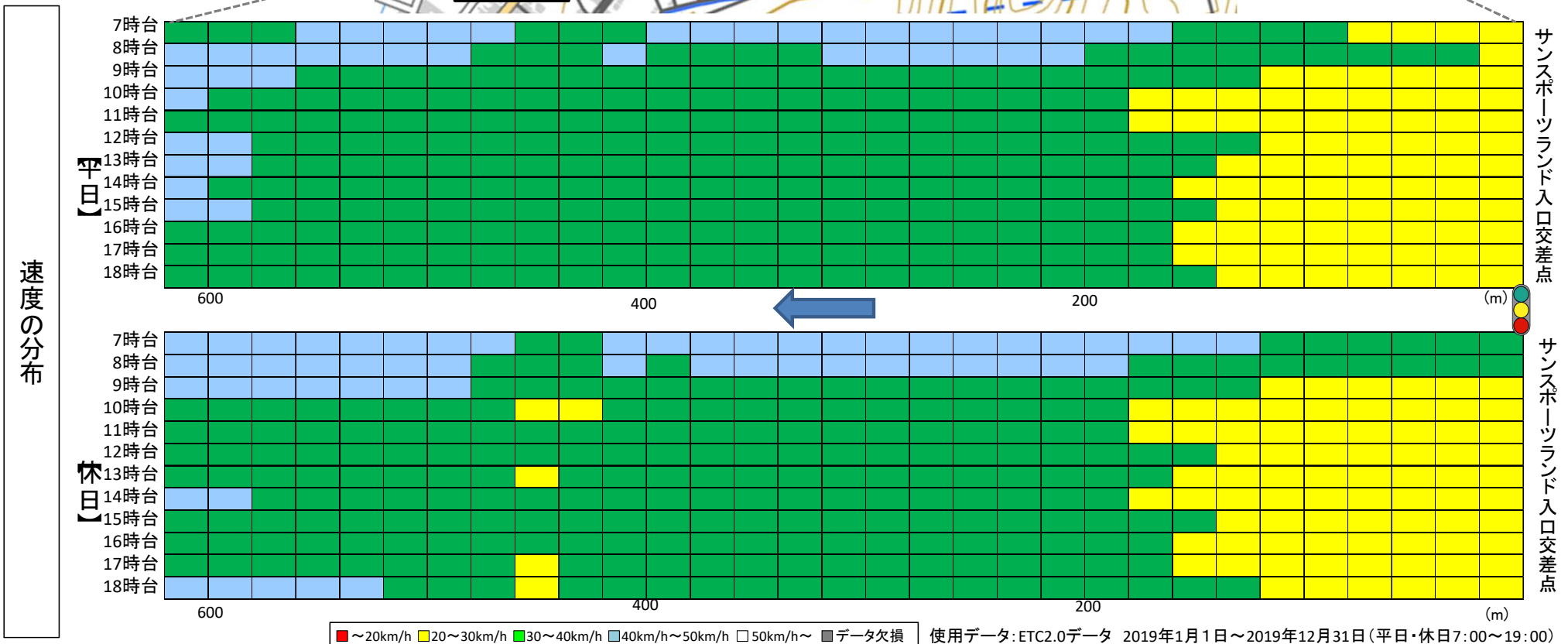


1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

○交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、平日・休日ともに、20km/h未満の速度低下がみられない。

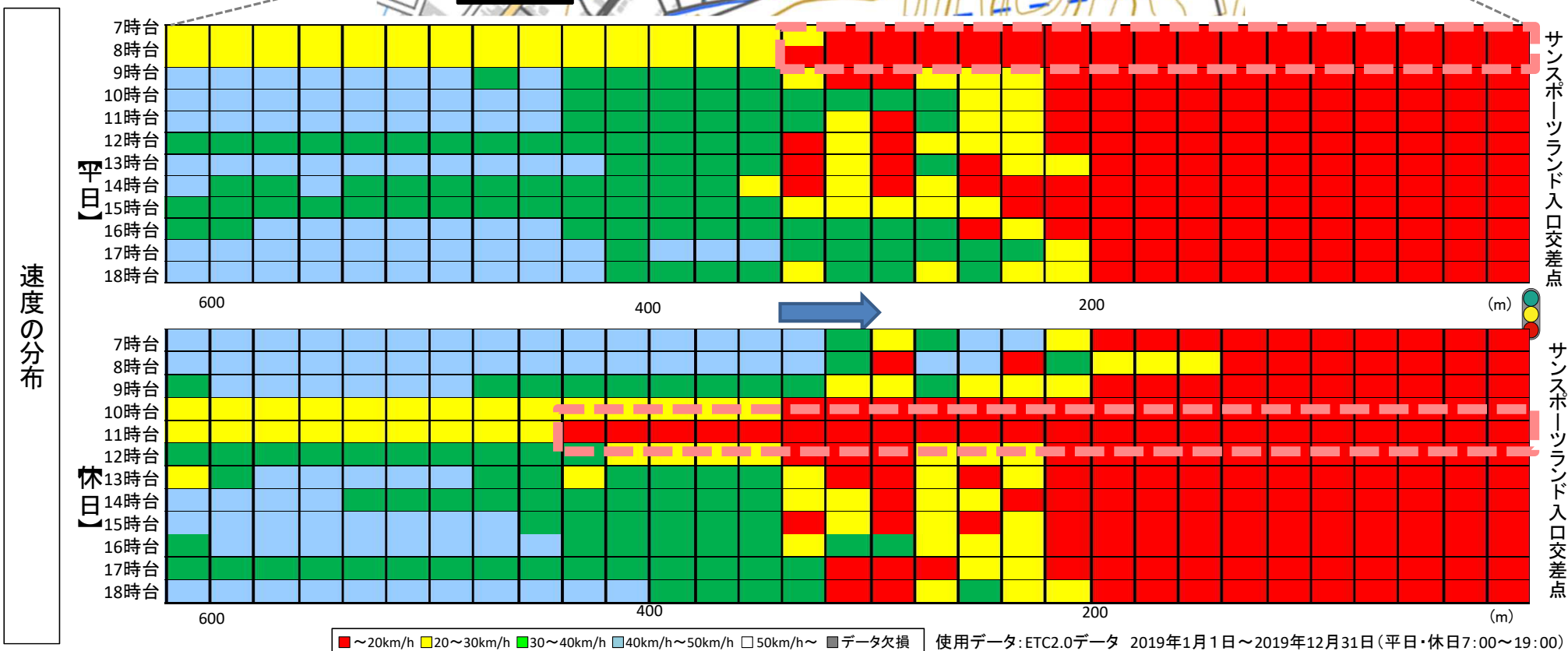


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

- 平日7時～8時台は、信号を先頭として約300mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。
- 休日11時台は、速度20km/h以下の区間が400m以上発生している。

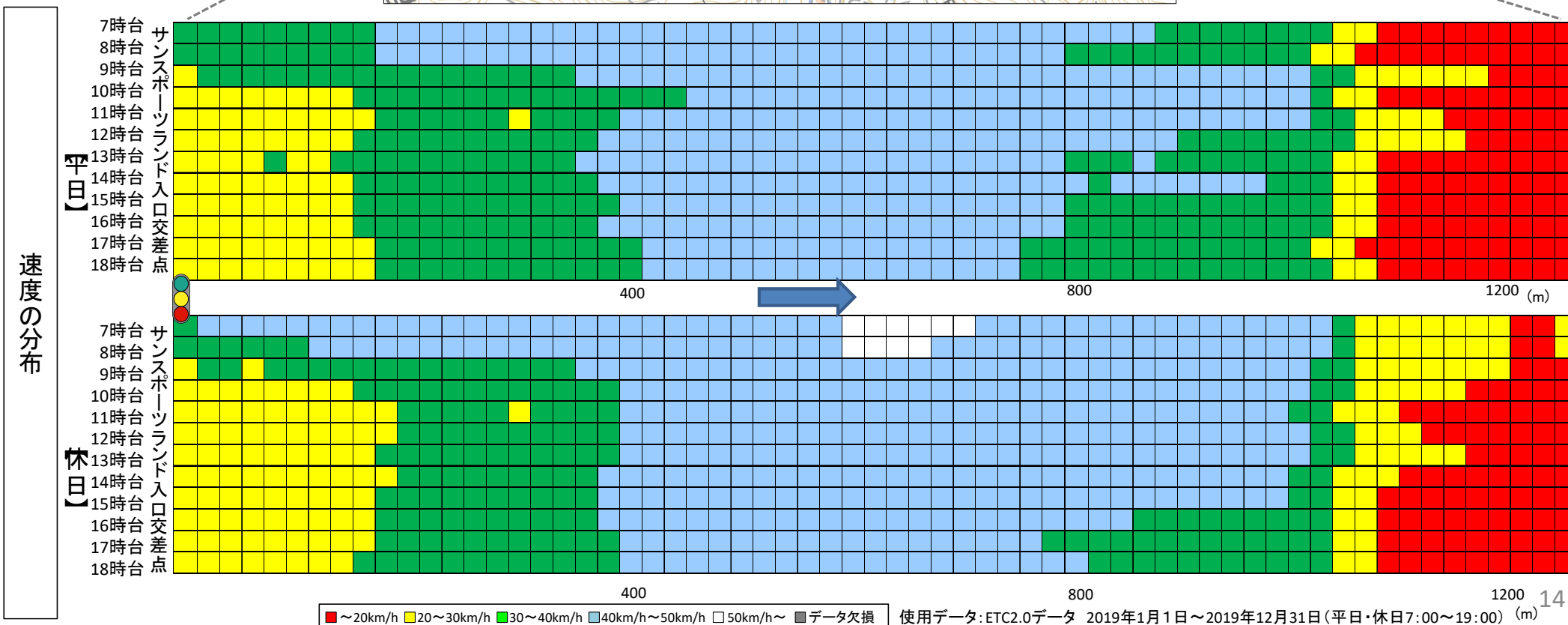


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

○交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、平日・休日ともに、20km/h未満の速度低下はみられない。

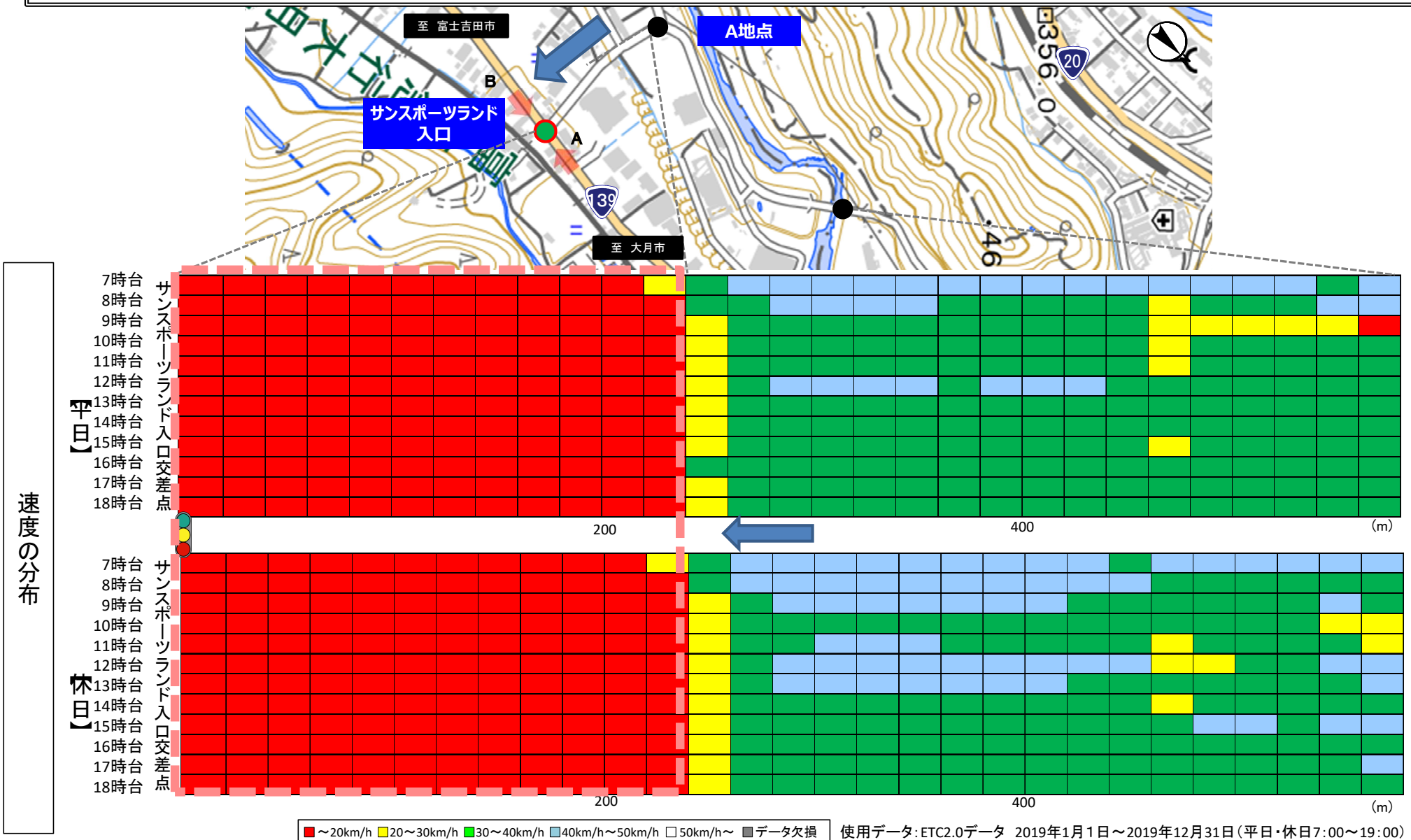


1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに終日、下図のA地点まで速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。
※サンスポーツランド入口交差点は感應式信号で、A地点は一時停止となっている。法定速度は30km/h。

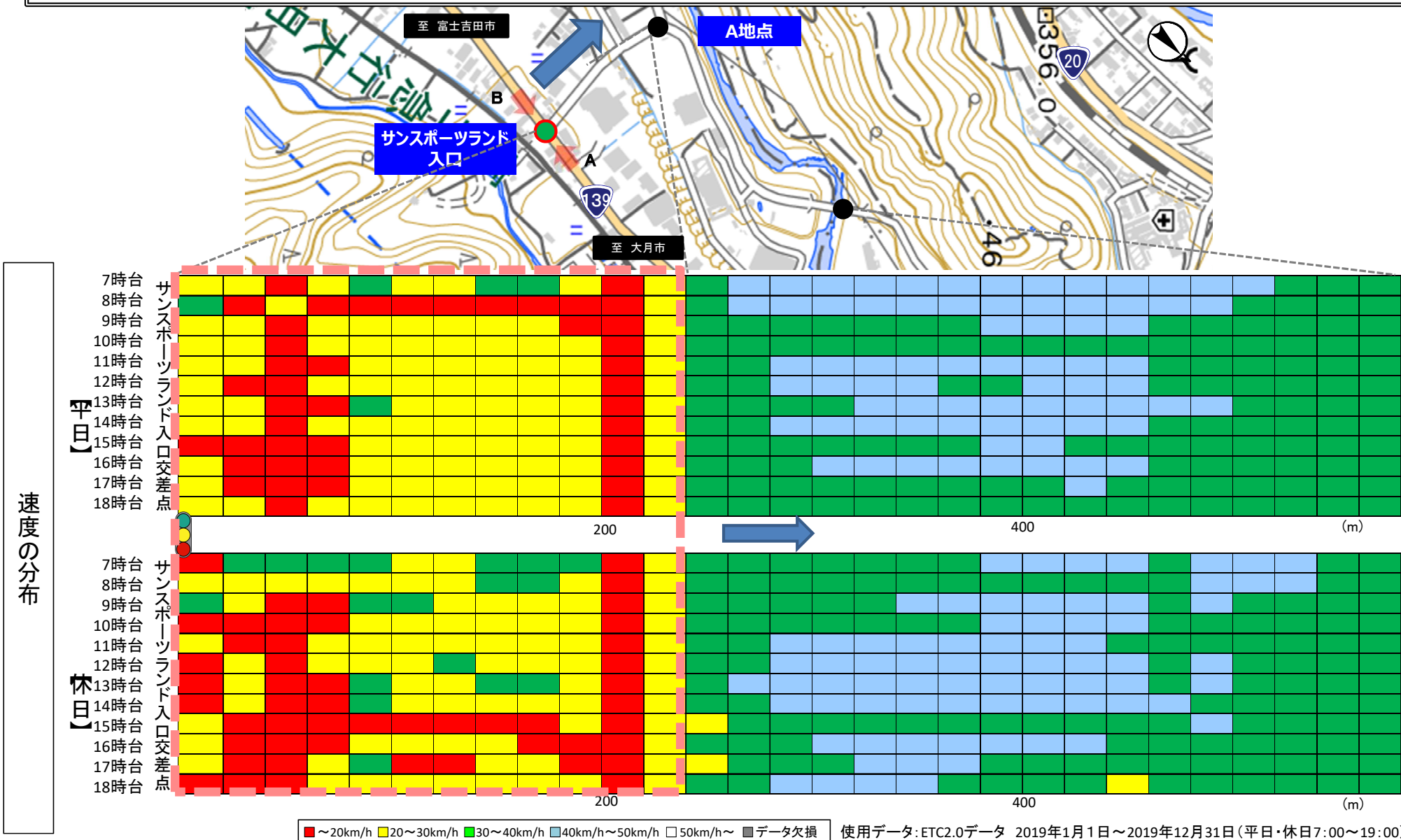


1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

②一般国道139号 サンスポーツランド^{いりぐち}入口交差点(都留市)

○平日・休日ともに、終日、下図のA地点からサンスポーツランド入口付近で断続的に速度20km/h以下となっている。
※法定速度は30km/h。

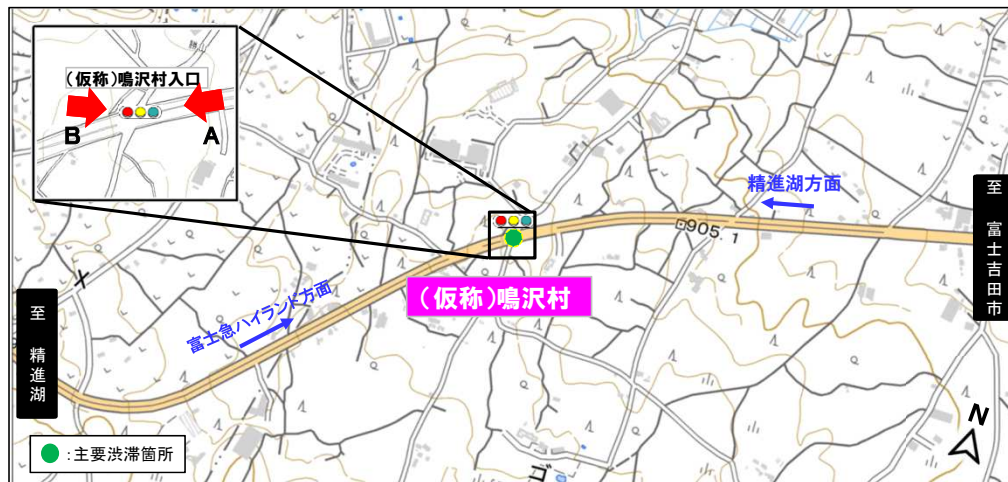


短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村交差点(勝山交差点)(富士河口湖町)

- 選定時においては、全方向で基準(20km/h)を上回っていたが、パブリックコメントで選定。
- 直近3年間(H29～31年)のモニタリングによると各方向で基準を上回っている。
- H31のモニタリング結果では、指標①等で選定時より速度が向上している。

■位置図



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、一：非該当

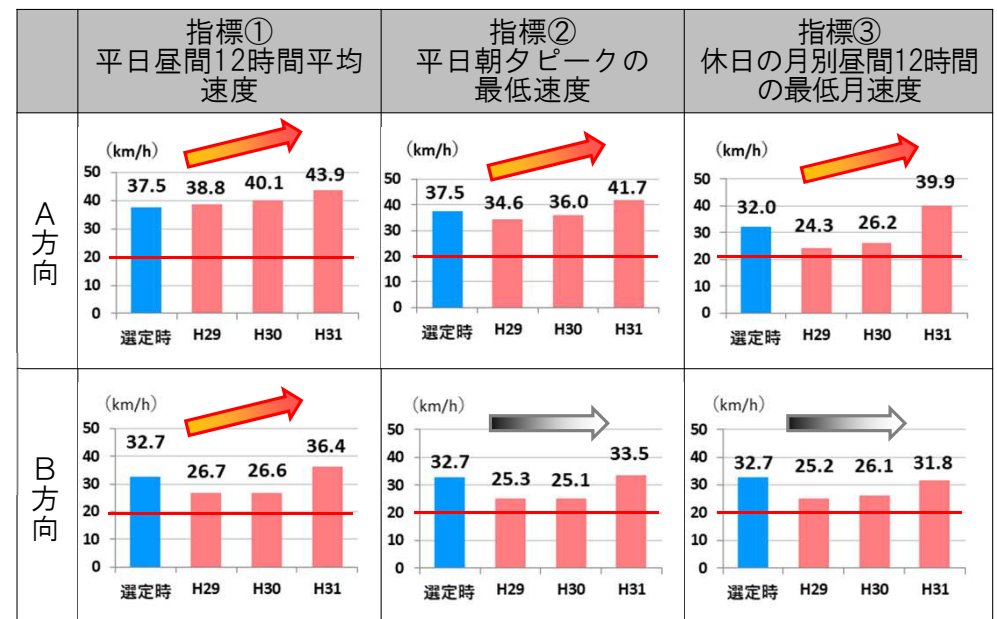
道路管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	(仮称)鳴沢村	富士河口湖町	●	選定時	-	-	-
				H29	-	-	-
				H30	-	-	-
				H31	-	-	-

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20 km/h以下

抽出指標②：平日朝夕(6～10時、16～20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20 km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20 km/h以下

■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定(民プロ)



※選定時の朝夕ピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

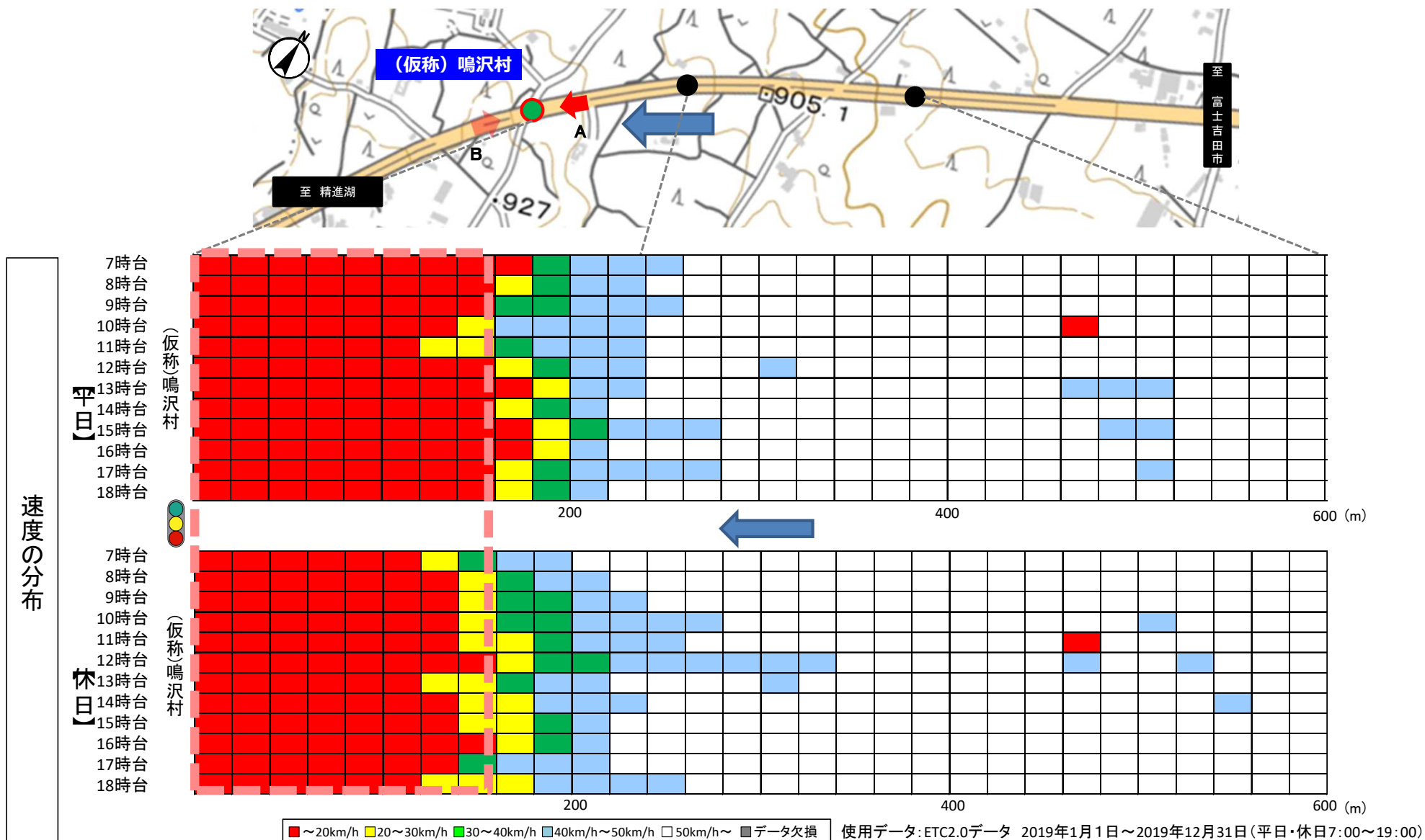
出典：民間プローブデータ 【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月
(指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く)
【H29】平成29年1月～平成29年12月
【H30】平成30年1月～平成30年12月
ETC2.0プローブデータ 【H31】平成31年1月～令和元年12月

1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村^{なるさわむら}交差点(勝山^{かつやま}交差点)(富士河口湖町)

○平日・休日ともに終日、信号を先頭として約160mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。

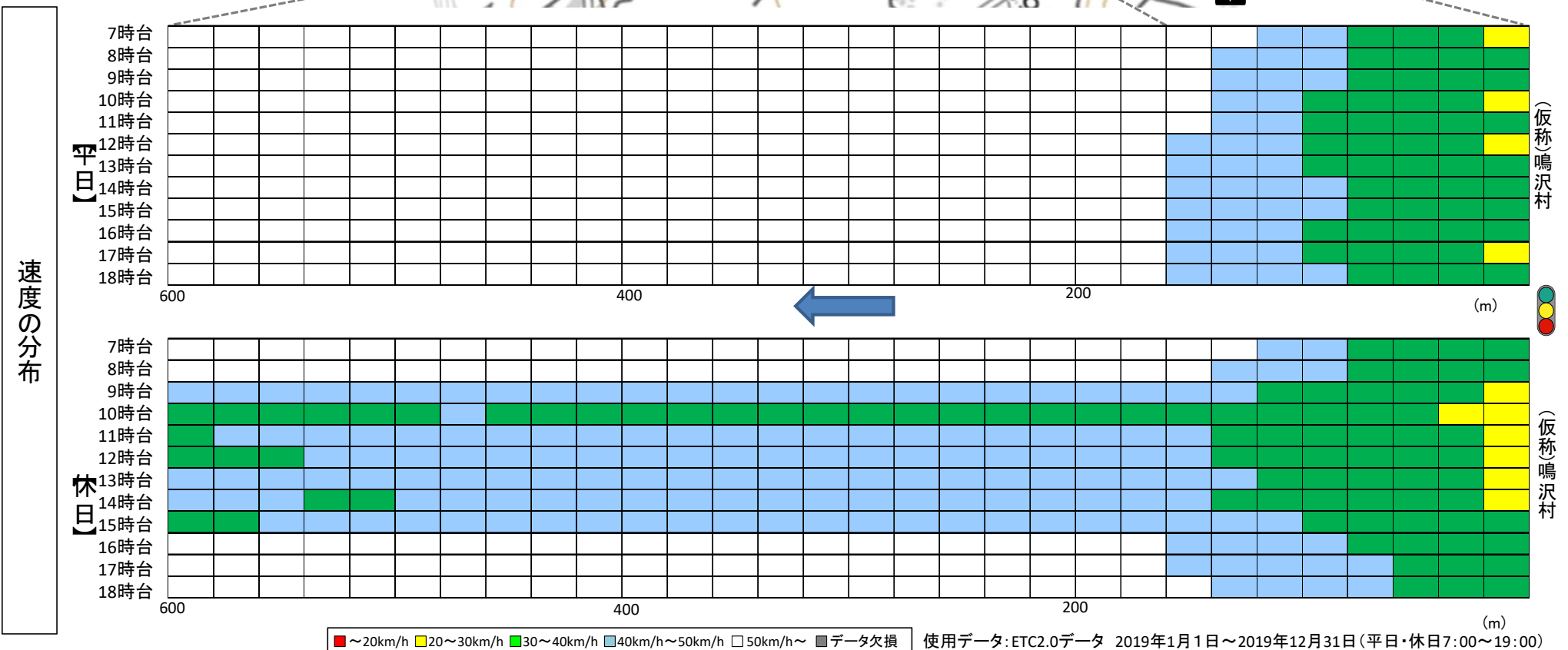
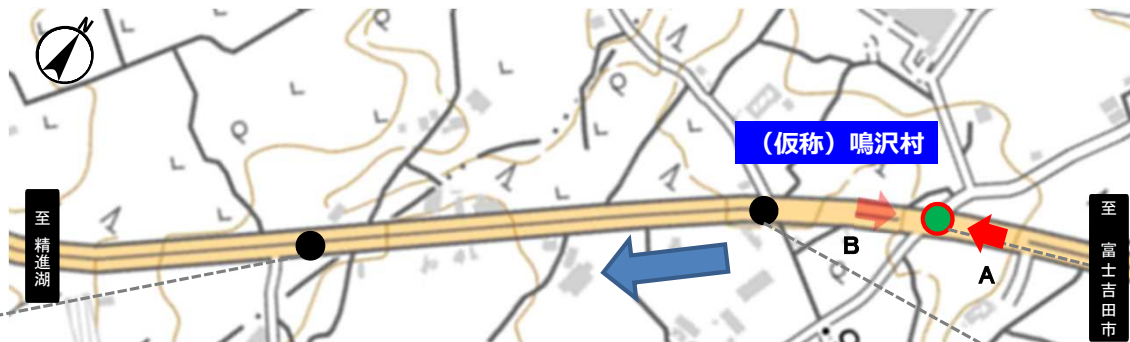


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村交差点(勝山交差点)(富士河口湖町)

○交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、平日・休日ともに、20km/h未満の速度低下はみられない。

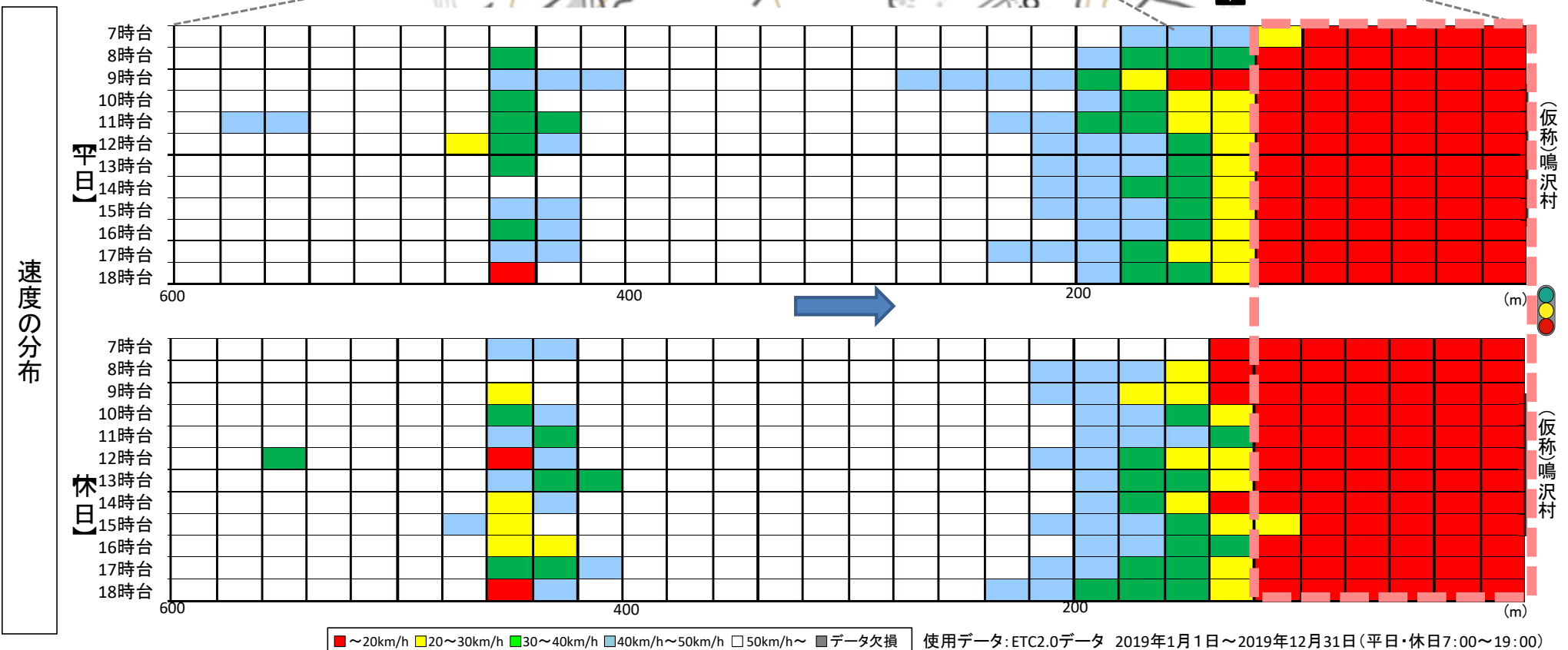


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村交差点(勝山交差点)(富士河口湖町)

○平日・休日ともに終日、信号を先頭として約120mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。

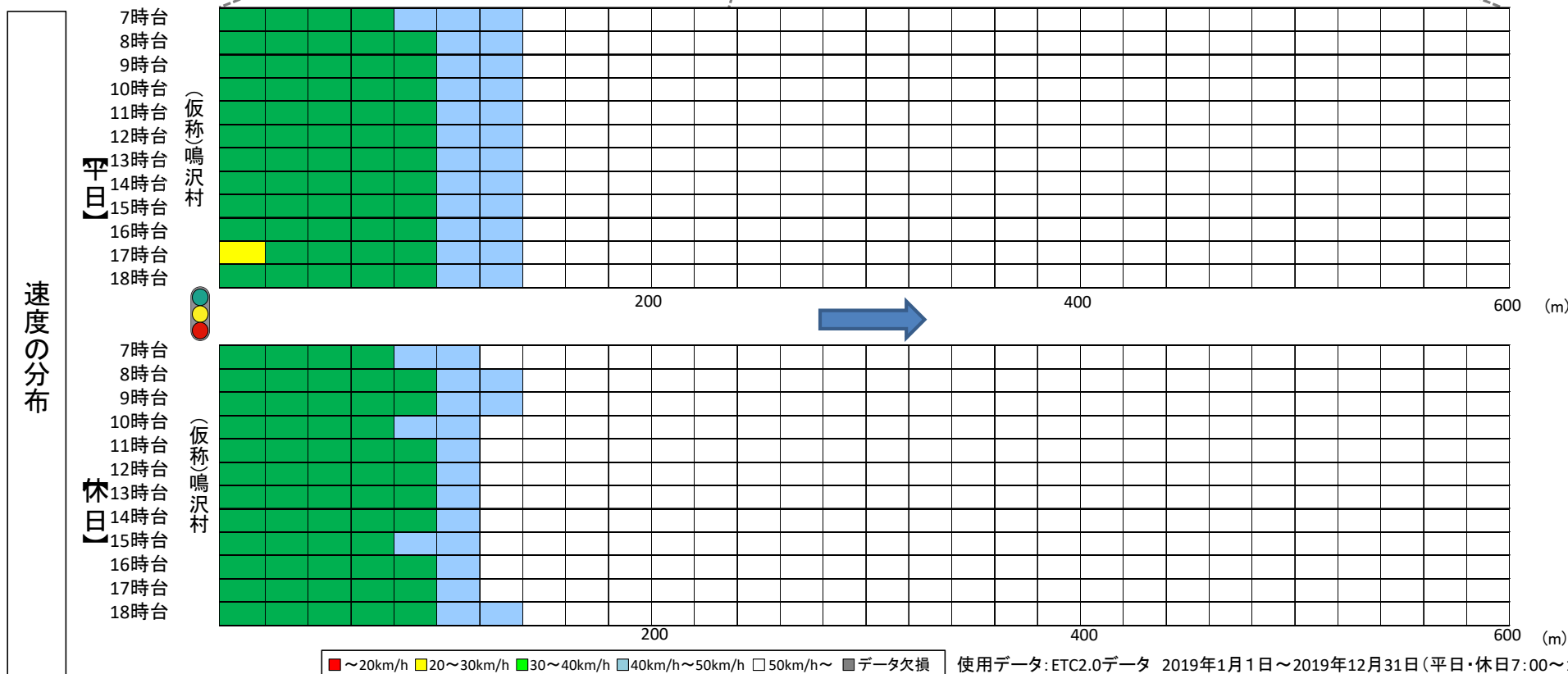


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村^{なるさわむら}交差点(勝山^{かつやま}交差点)(富士河口湖町)

○交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、平日・休日ともに、20km/h未満の速度低下はみられない。

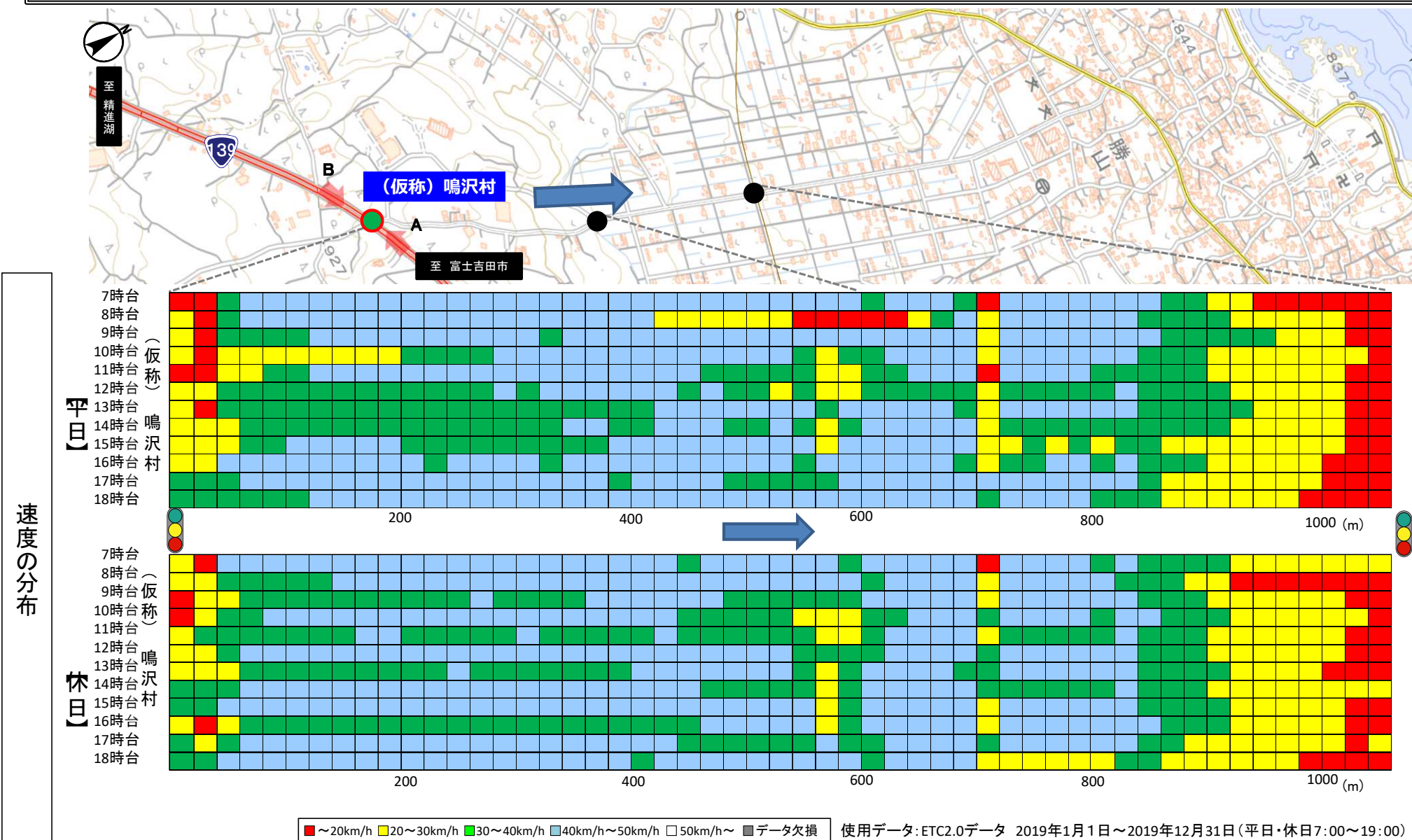


1. 短期対策を当面未実施とする箇所を検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村交差点(勝山交差点)(富士河口湖町)

○交差点付近では信号による影響が含まれているものの流出側においては、平日・休日ともに、20km/h未満の速度低下はほとんどみられない。

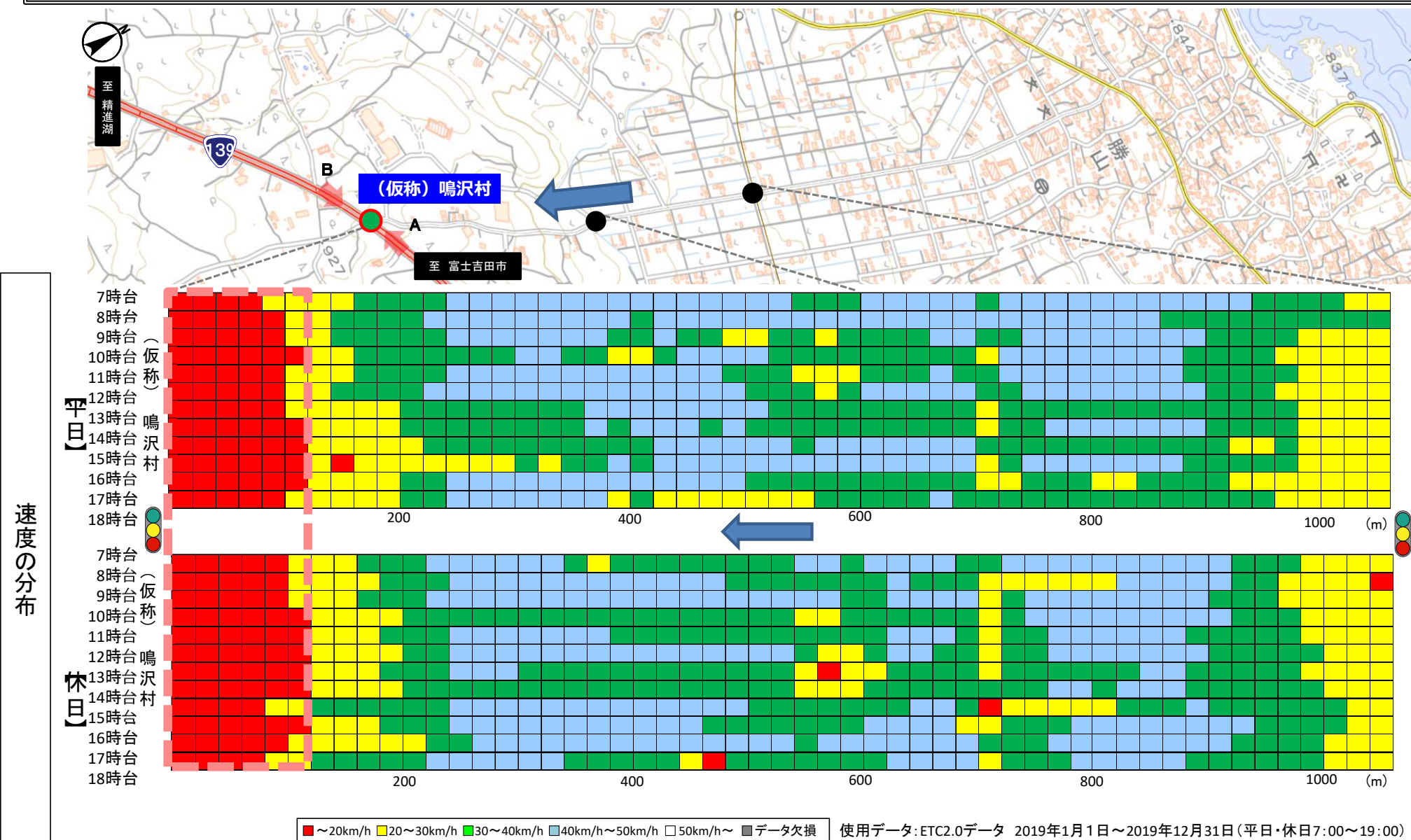


1. 短期対策を当面未実施とする箇所の検討状況

短期対策を当面未実施とする候補箇所の交通状況

③(仮称)鳴沢村交差点(勝山交差点)(富士河口湖町)

○平日・休日ともに信号を先頭として約120mが速度20km/h以下となっているが信号による影響が含まれている。
※(仮称)鳴沢村交差点は感应式信号



2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

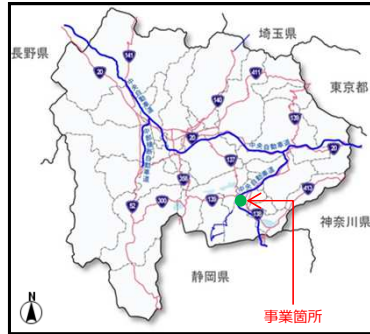
2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

交通状況(①国道139号 東恋路交差点(富士河口湖町))

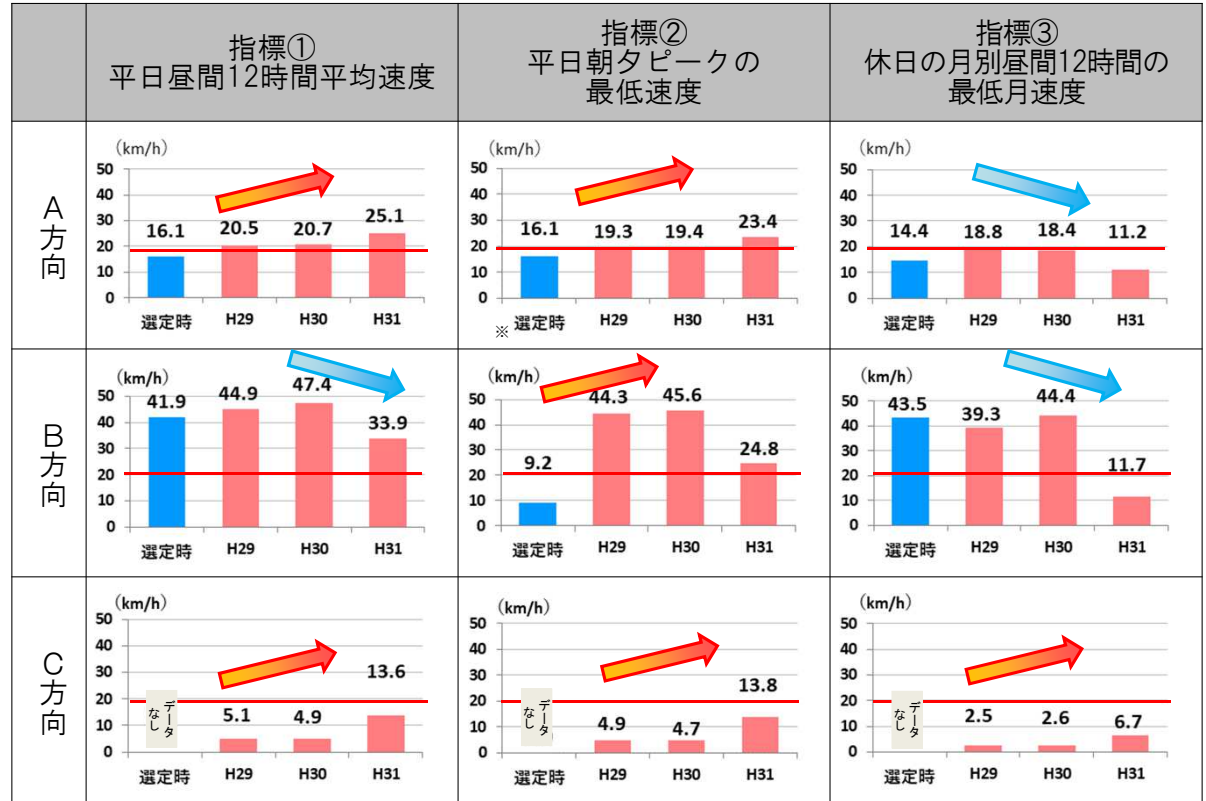
○選定時にはA方向で3指標すべてで基準を下回っていた。最新のデータによると指標③休日の速度で基準を下回っている。

○B方向の休日に、20km/hを下回る速度低下区間が100m程度発生。

■位置図



■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、一：非該当

道路 管理者	箇所名	市町村	パプコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	東恋路	富士河口 湖町	●	選定時	●	●	●
				H29	●	●	●
				H30	●	●	●
				H31	●	●	●

※選定時の朝タピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

出典：民間プローブデータ

【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月
(指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く)

【H29】平成29年1月～平成29年12月

【H30】平成30年1月～平成30年12月

ETC2.0プローブデータ

【H31】平成31年1月～令和元年12月

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20km/h以下

抽出指標②：平日朝タピーク(6～10時、16～20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

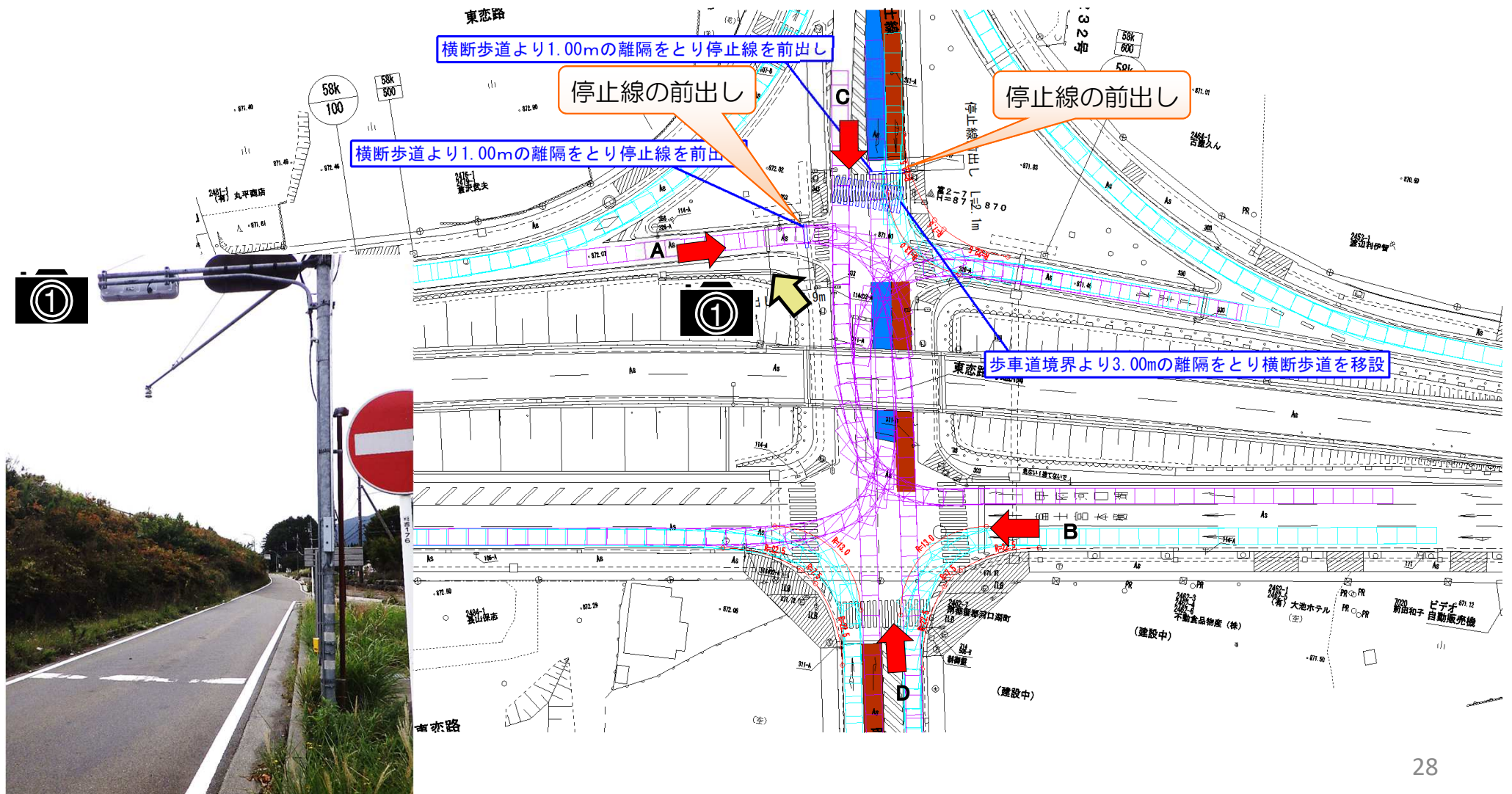
2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

ピンポイント対策案(①国道139号 東恋路交差点(富士河口湖町))

○A方向は停止線の前出しを検討したが、感應式信号の移設が伴うため対策を取り下げ。(5.9m)(写真①)

○B方向は停止線の前出しは困難。

○C方向は横断歩道の移設を伴う停止線の前出しを検討したが、3mに満たないため対策を取り下げ。(2.1m)

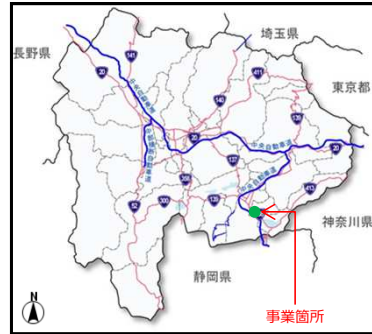


2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

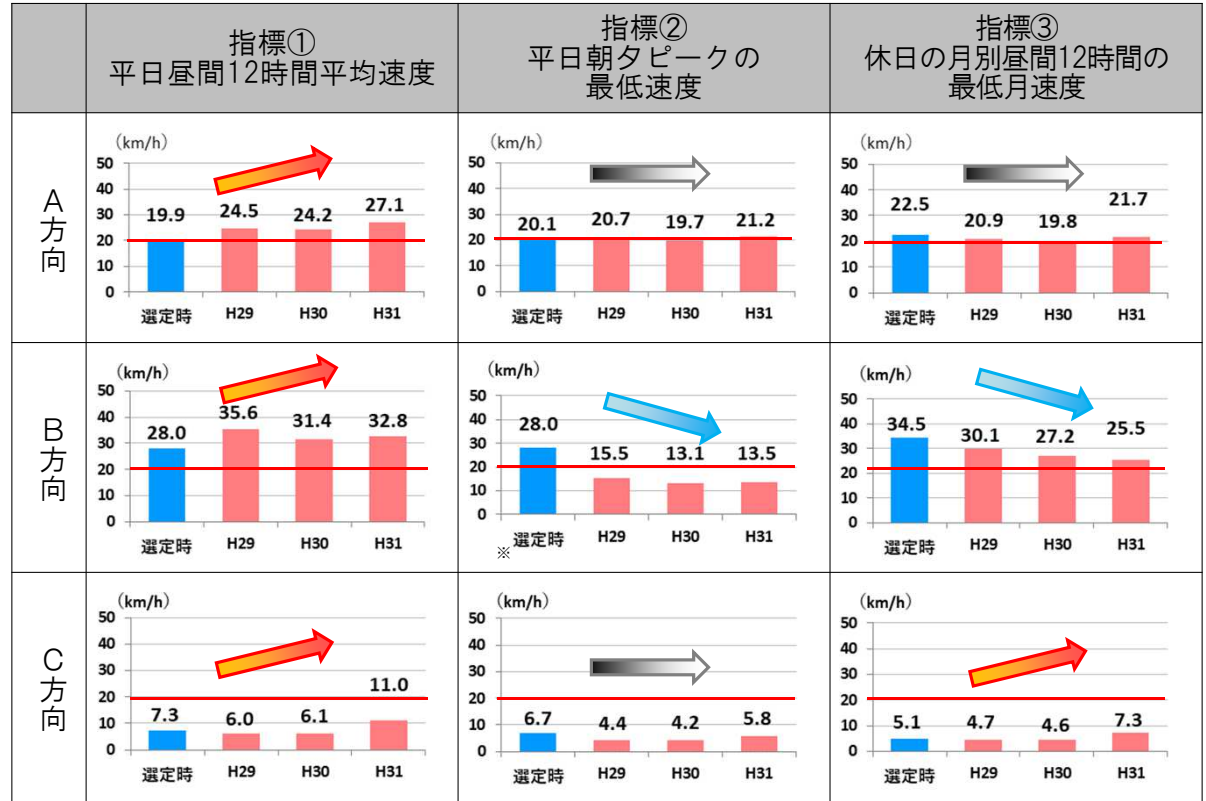
交通状況（②国道138号 忍野入口交差点（山中湖村））

- 選定時からC方向で3指標の基準を下回る。
- 平日の夕方にB方向で長距離の20km/hを下回る速度低下区間が発生。
- C方向では、平日、休日ともに200m程度の速度低下が発生。

■位置図



■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、一：非該当

道路 管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	忍野入口	山中湖村	●	選定時	●	●	●
				H29	●	●	●
				H30	●	●	●
				H31	●	●	●

※選定時の朝タピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

出典：民間プローブデータ

【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月
（指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く）

【H29】平成29年1月～平成29年12月

【H30】平成30年1月～平成30年12月

ETC2.0プローブデータ

【H31】平成31年1月～令和元年12月

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20km/h以下

抽出指標②：平日朝タピーク（6～10時、16～20時）の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

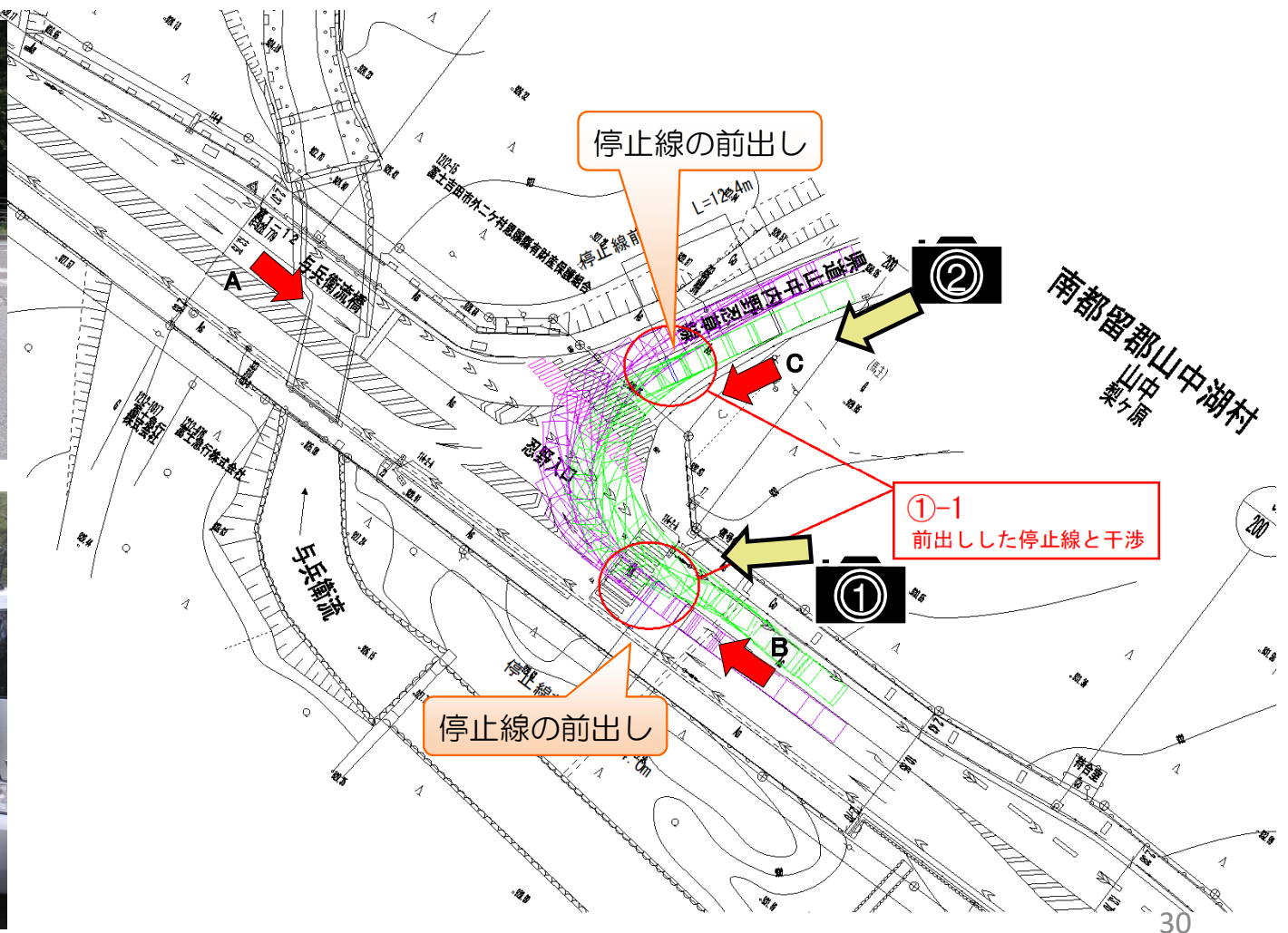
ピンポイント対策案((②国道138号 忍野入口交差点(山中湖村)))

○A方向は3指標を全てクリアしているため、対策は行わない。

○B方向は停止線の前出しを検討。(4.0m)(写真①)

○C方向は停止線の前出しを検討。(12.4m)(写真②)

○しかしB方向⇄C方向は現況はセミトレが通行可能だが、停止線の前出しを実施するとセミトレが通行不可能になってしまう。対策の提案は取り下げ。

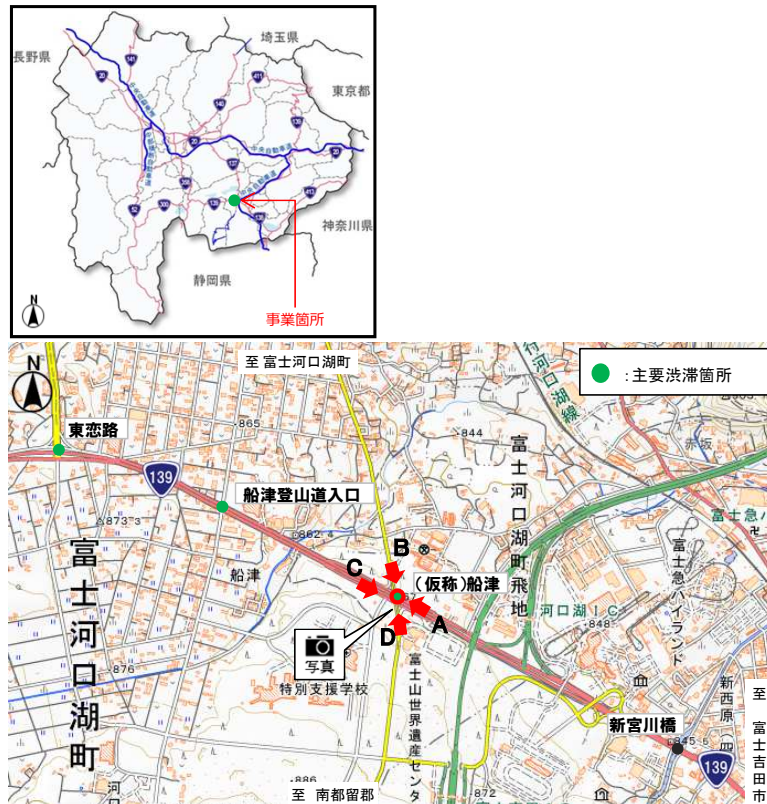


2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

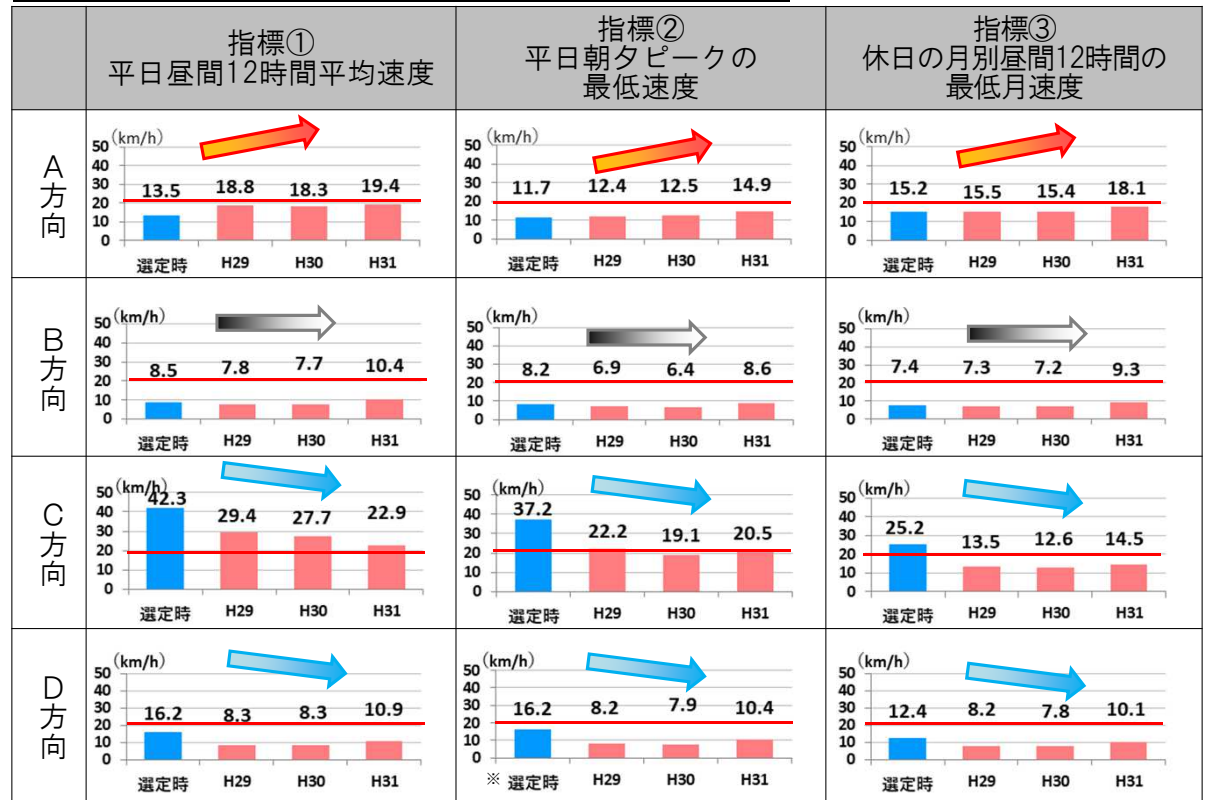
交通状況(③国道139号 (仮称)船津交差点(富士河口湖町))

○選定時はA、B、D方向で速度が低かったが、A方向で改善が見られるものの、各方向で基準を下回る。
○BD方向では、平日、休日ともに、20km/hを下回る速度低下区間が100m程度発生。

■位置図



■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定



■抽出指標の判定

指標該当状況: ●: 該当、—: 非該当

道路管理者	箇所名	市町村	パプコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	(仮称)船津	富士河口湖町	●	選定時	●	●	●
				H29	●	●	●
				H30	●	●	●
				H31	●	●	●

抽出指標①: 平日昼間12時間平均速度が20km/h以下

抽出指標②: 平日朝タピーク(6~10時、16~20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下

抽出指標③: 休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

※選定時の朝タピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

出典: 民間プローブデータ

【選定時】指標②は平成22年9月~11月、指標③は平成22年3月~平成23年2月
(指標③: 高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月~平成23年3月を除く)

【H29】平成29年1月~平成29年12月

【H30】平成30年1月~平成30年12月

ETC2.0プローブデータ

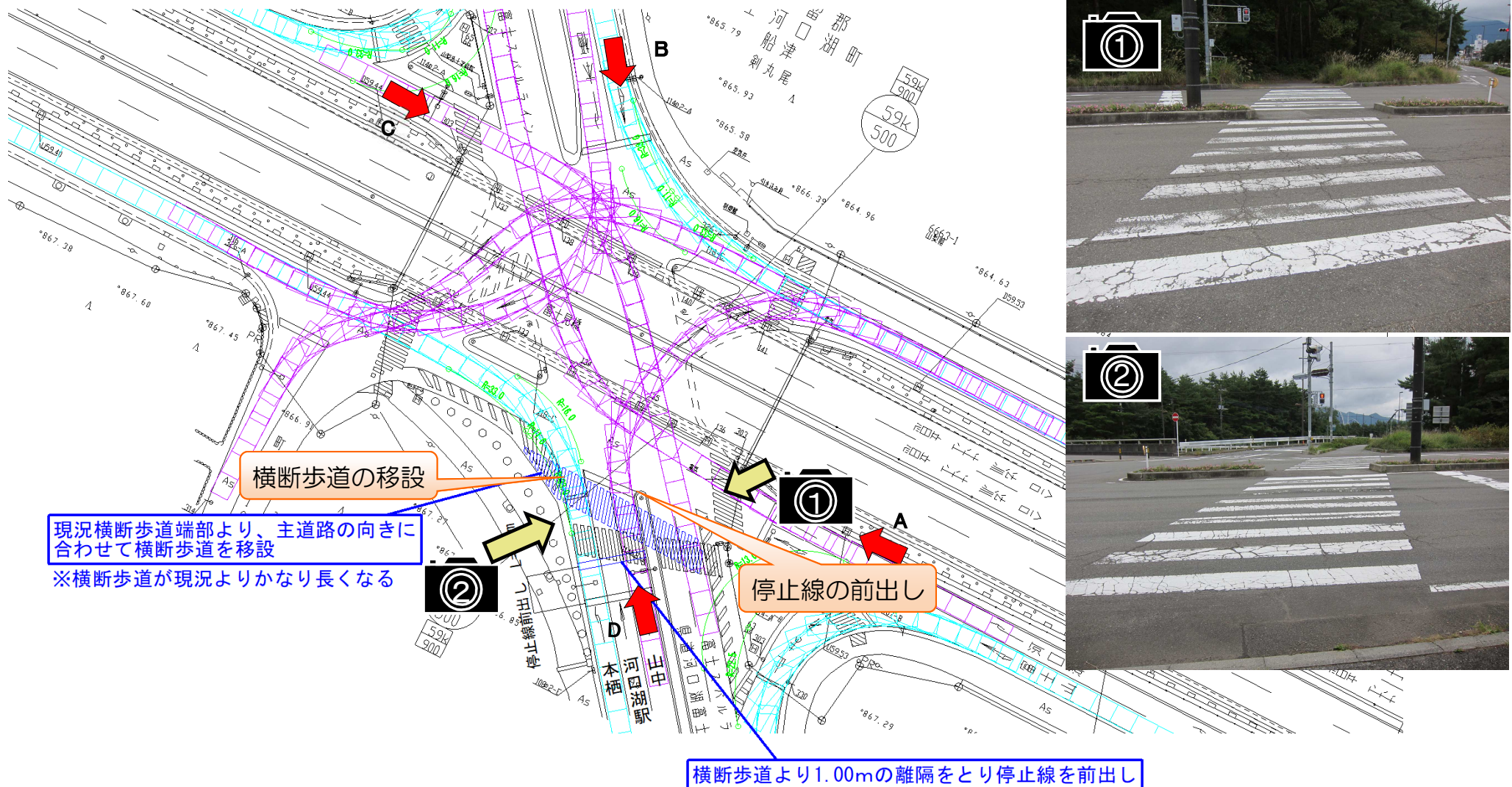
【H31】平成31年1月~令和元年12月

2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

ピンポイント対策案(③国道139号 (仮称)船津交差点(富士河口湖町))

○A・B・C方向は停止線の前出しは困難。

○D方向は停止線の前出しを検討したが、横断歩道の移設や中央分離帯と植栽帯の移設を伴うため、対策を断念。(4.9m)(写真①②)

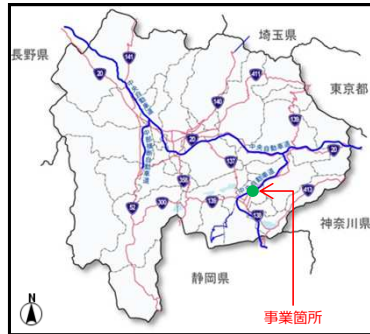


2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

交通状況(⑦国道139号 下の水交差点(富士吉田市))

○選定時は、A方向で速度が低い傾向にあったが、現在は指標②ピーク時の基準を下回る。
○A方向では、隣接する富士見バイパス北交差点まで20km/hを下回る速度低下区間が続いている。

■位置図



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、○：非該当

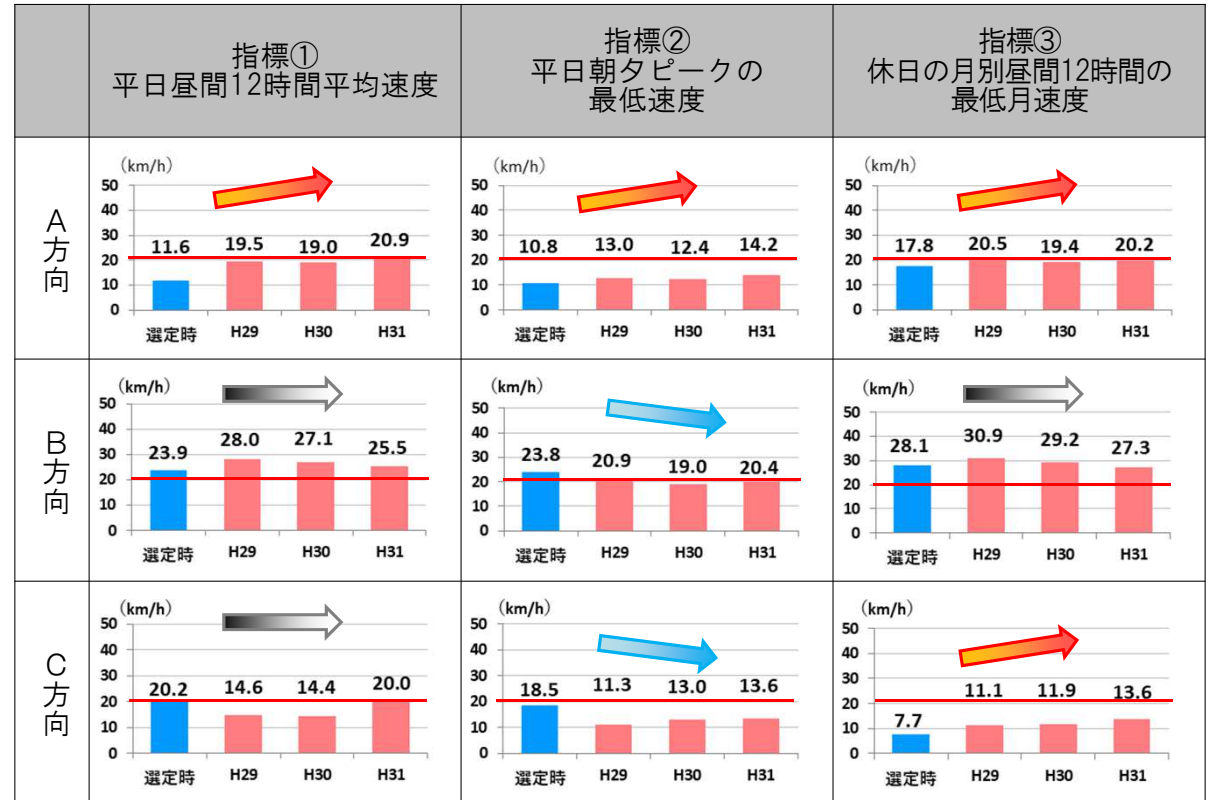
道路 管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	下の水	富士吉田市	●	選定時	●	●	●
				H29	●	●	●
				H30	●	●	●
				H31	●	●	●

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20km/h以下

抽出指標②：平日朝タピーク（6～10時、16～20時）の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定



※選定時の朝タピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

出典：民間プローブデータ

【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月

（指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く）

【H29】平成29年1月～平成29年12月

【H30】平成30年1月～平成30年12月

ETC2.0プローブデータ

【H31】平成31年1月～令和元年12月

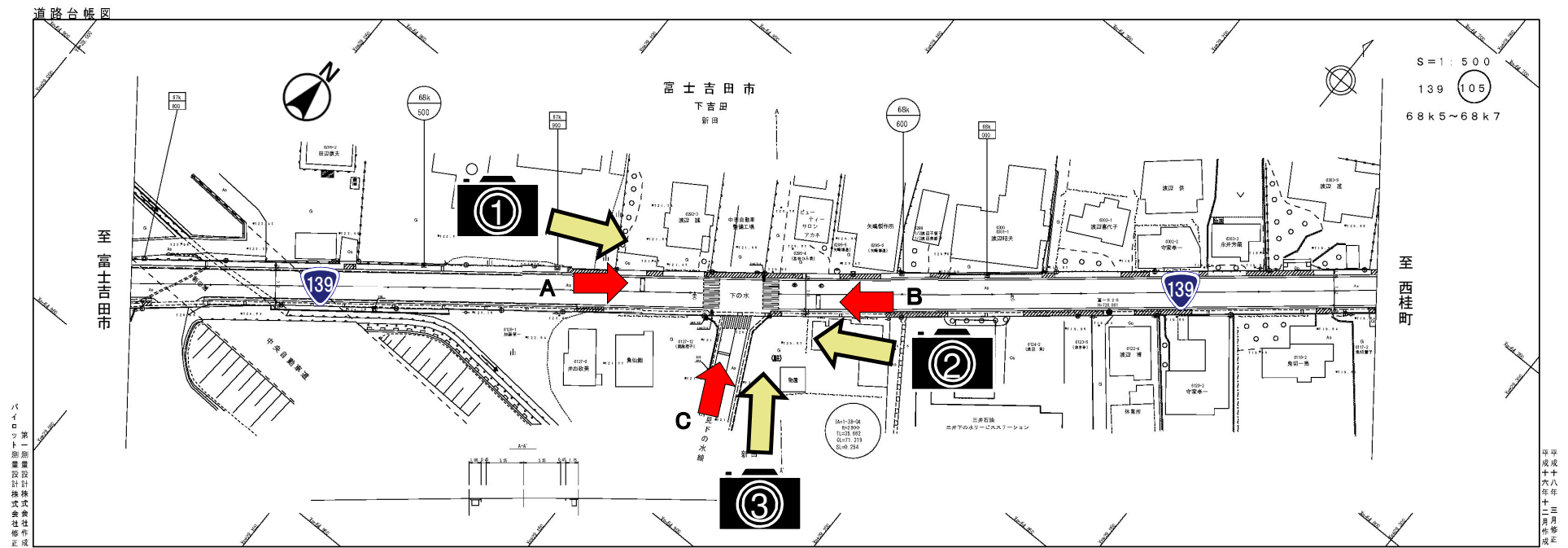
2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

ピンポイント対策案(⑦国道139号 下の水交差点(富士吉田市))

○A方向は停止線の前出しは困難。(写真①)

○B方向は3指標を全てクリアしているため、対策は行わない。(写真②)

○C方向は停止線の前出しは困難。(写真③)



平面直角座標は、世界測地系に準拠

この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである
[助言番号] 1999年公第10号

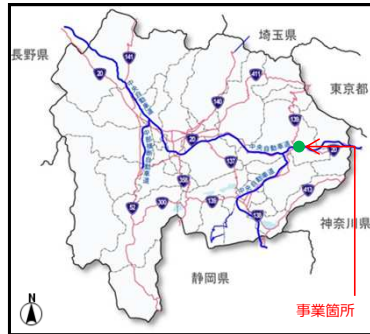


2. ピンポイント渋滞対策の検討状況

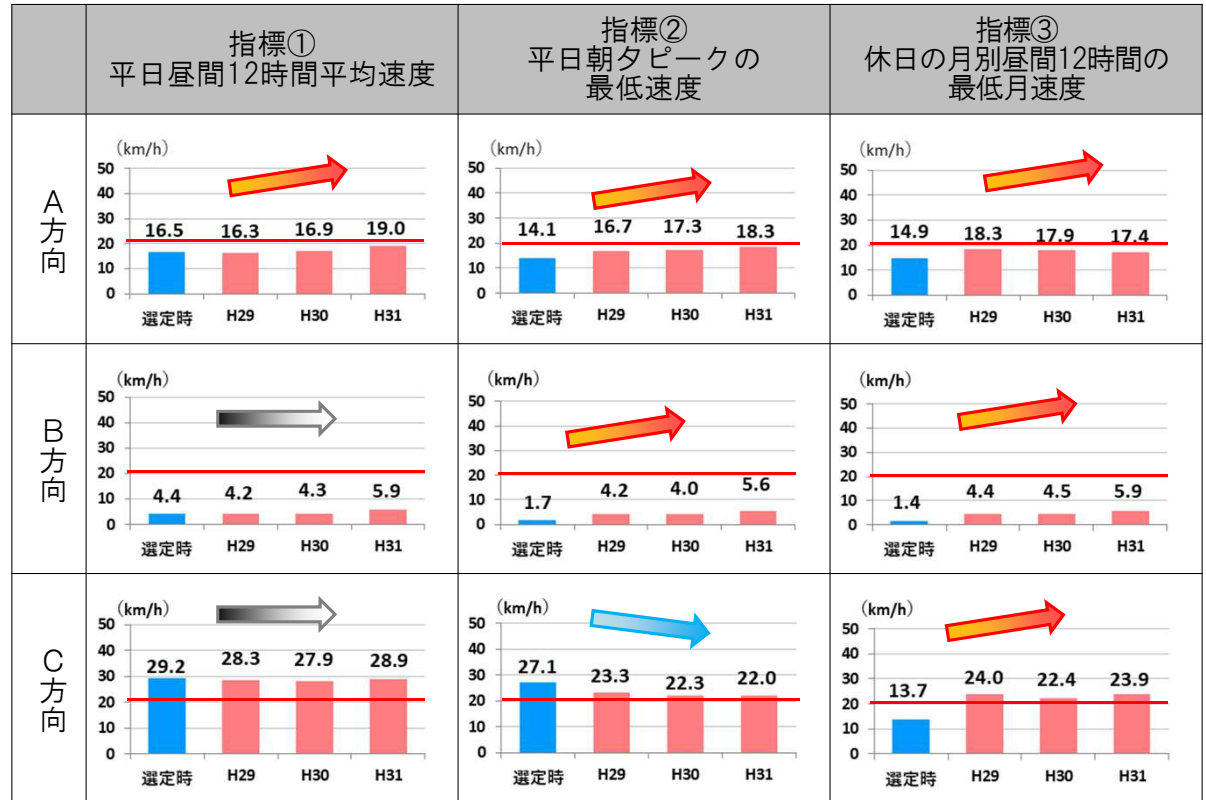
交通状況(⑨国道20号 猿橋小入口交差点(大月市))

○A方向とB方向で指標の基準を下回っていて、特にB方向の速度が、平日、休日ともに低い。
○A方向は隣接する新猿橋西交差点から継続して速度低下が発生。
○B方向の20km/hを下回る速度低下区間は、100m程度となっている。

■位置図



■旅行速度の変化と抽出指標に対する判定



■抽出指標の判定

指標該当状況： ●：該当、○：非該当

道路 管理者	箇所名	市町村	パブコメ	年度	指標①	指標②	指標③
国交省	猿橋小 入口	大月市	-	選定時	-	●	●
				H29	●	●	●
				H30	●	●	●
				H31	-	●	●

※選定時の朝タピーク時速度が20km/h以上で平日昼間12時間平均速度より高い場合はデータサンプル数が不十分と考え、平日12時間平均速度で代替。

出典：民間プローブデータ

【選定時】指標②は平成22年9月～11月、指標③は平成22年3月～平成23年2月

(指標③：高速道路無料化実験区間との並走区間は平成22年7月～平成23年3月を除く)

【H29】平成29年1月～平成29年12月

【H30】平成30年1月～平成30年12月

ETC2.0プローブデータ

【H31】平成31年1月～令和元年12月

抽出指標①：平日昼間12時間平均速度が20km/h以下

抽出指標②：平日朝タピーク(6～10時、16～20時)の時間帯旅行速度の最低速度が20km/h以下

抽出指標③：休日の月別昼間12時間旅行速度のうち、昼間12時間の旅行速度が最低の月が20km/h以下

ピンポイント対策案(⑨国道20号 猿橋小入口交差点(大月市))

OC方向は3指標をすべてクリアしているため、対策は行わない。(写真③)

